

# 令和4年度 事業報告

I. 事業総括	1
II. 役員名簿	3
III. 会員の現況報告	4
IV. 各会の報告	5
1) 総会	5
2) 理事会	7
3) ブロック代表者会・会長協議会	30
V. 各部事業報告	33
VI. 各部活動報告	34



# I. 事業総括

令和4年度は山田会長の2期4年目の体制で会務の着実な遂行を目指した。

相変わらずコロナ禍により事業運営には種々困難があったが事務局も安定しIT化DX化もすみ、また後半にはコロナ感染者数も減少傾向となり実際に対面で実施できる事業も徐々に増加して来た。

本会の目的は定款に明記されている通り女性の健康と母子保健を増進して国民の福祉に寄与し、あわせて会員相互の親睦と研修につとめることにある。

この目的を達成するための定款に沿った6事業についてその主なものを報告する。

## 1) 女性の保健・医療・福祉に関する事業

主に医業対策部、医療事故対策部、病院部、がん対策部、社会保険部が担当した。

医業対策部では妊娠期から産後まで支援を必要とする養育者への切れ目のない支援体制の構築の為、産婦健診の推進を各方面に働きかけた。また精神科との連携を模索した。

東京都人権部と連携し性犯罪等被害者支援の為の講習会を開催支援した。

また児童虐待対応研修へ協力した。またSNSによる中傷被害の実情をアンケート調査した。

委員会はzoomにより一回開催された。

医療事故対策部は東京産婦人科医会への偶発事例報告、日本産婦人科医会医療安全部の妊産婦死亡報告事業をまとめた。委員会は1回zoomにより開催した。

病院部は日本産婦人科医会勤務医委員会による「産婦人科勤務医待遇改善と女性医師の就労環境アンケート」をもとに東京都のデータ分析を行い勤務医委員会（1回zoomで開催）で検討した。

がん対策部は例年の如く各地区の子宮がん検診、乳がん検診実施状況調査結果の報告および課題克服の徹底を試みた。ベセスダシステム導入を推進。マンモグラフィ検診の推進。若年層における乳がん検診、超音波検査の検討。液状検体採取法（LBC）導入の推進。HPVワクチン接種の積極的勧奨の推進を行った。委員会はzoomで2回開催した。

社会保険部では例年の保険診療の適正な実施にむけた解説や疑義解釈に努めた。不妊治療の保険適用が行われた為情報を共有しつつ審査基準を示した。

臨床研究会では保険コーナーを開催した。

## 2) 母子保健に関する事業

主に母子保健部、学校保健部が担当した。

母子保健部では東京都周産期医療協議会に参加し、周産期医療供給システムの構築・運営に協力した。

災害時における周産期医療体制の構築に協力した。またコロナ禍ではあったが例年通り東京都新生児蘇生法研修事業を共催し、日本周産期・新生児医学会公認NCPR研修会を実施した。更に東京都産科救急研修事業共催の日本母体救命システム普及協議会（J-CIMELS）の母体救命公認講習会を6回開催した。

新生児聴覚スクリーニング検査の実績と評価を検討した。

HTLV-1キャリア妊婦と出生児のフォローアップ体制の構築を行い、東京小児科医会と協力しHTLV-1東京プログラムを発表した。

学校保健部では東京都教育庁との協力体制のもとコロナ禍においても事業を推進した。

- 1 都立高校41校に産婦人科専門医を派遣し性教育を実施した。
- 2 公立中学校30校に産婦人科専門医を派遣し性教育を実施した。

- 3 産婦人科専門医派遣事業推進のための会員向け講習会を開催した。
- 4 養護教諭向け講習会を開催
- 5 特別支援学校2校へ産婦人科専門医派遣
- 6 都立高校10校に産婦人科学校医
- 7 生涯の健康に関する理解促進事業としてプレコンセプションケア授業6校

### 3) 母体保護法の適正な運営と実施・啓発に関する事業

主に母体保護部が担当した。

母体保護法指定医師研修会を開催することは東京都医師会から本会に付託された重要な案件で3回開催した。

令和4年度母体保護法指定医師更新者は720名、返納者37名であった。

### 4) 会員の学術研修に関する事業

主に学術部が担当した。

第308回、第309回臨床研究会、第43回、第44回合同研修会を開催した。

また東京産婦人科臨床フォーラムをGEヘルスケア・ジャパン株式会社と共催。

女性医療フォーラムをバイエル薬品株式会社と共催した。

### 5) 会員の品位向上と福祉に関する事業

主に献金部が担当した。

おぎゃー献金理念に適った障害養護施設の運営、大学の研究活動を支援することにより、障害児がより良い社会活動を送る一助となるべく審査し、本部に推薦した。

第8回おぎゃー献金推進イベントを開催した。

### 6) その他本会が目的達成に必要な事業

主に総務部、会計部、広報部が担当した。

総務部は本会の根幹をなす事業を調整する部である。

日本産婦人科医会、関東ブロック産婦人科医会、日本産科婦人科学会、関東連合産科婦人科学会、東京産科婦人科学会、日本医師会、東京都医師会との関係業務の推進と協力を行った。

令和4年は6月の定時総会、令和5年3月の臨時総会共に現地で、対面で開催することができた。

日本産婦人科医会代議員選挙が行われ6名の代議員と2名の予備代議員が選出された。

会計部は令和3年度の決算書を作成し会計監査会を開催した。令和4年6月の定時総会で承認された。

また令和5年度予算書を作成し、予算編成会議を開催した。令和5年2月の理事会で承認された。

広報部はTAOGニュースを年4回発行、東京産婦人科会誌を年1回刊行した。

ホームページをリニューアルした。

広報委員会は5回開催し編集、企画、校正を行った。

## Ⅱ. 役員名簿

会 長	山 田 正 興	会長
副会長	松 本 和 紀	総務・会計・学術・社会保険・医業対策・ 癌対策
副会長	対 馬 ルリ子	広報・母子保健・医療事故・学校保健
副会長	荘 隆一郎	母体保護・献金・病院
理 事	中 林 稔	総務・母体保護
理 事	坂 田 優	会計・医業対策
理 事	武 知 公 博	学術・母子保健
理 事	里 見 操 緒	広報・会計
理 事	中 野 義 宏	母体保護・広報
理 事	谷 垣 伸 治	母子保健・学術
理 事	前 村 俊 満	社会保険・病院
理 事	中 島 由美子	医業対策・学校保健
理 事	中 林 豊	医業対策・総務
理 事	岩 田 みさ子	医療事故・癌対策
理 事	水主川 純	病院・医療事故
理 事	木 口 一 成	癌対策・献金
理 事	堀 量 博	献金・社会保険
理 事	長 岡 美 樹	学校保健・広報
理 事	川 嶋 一 成	母体保護
監 事	中 林 正 雄	監査
監 事	中 井 章 人	監査

### Ⅲ. 会員の現況報告

令和4年度会員数の増減

	令和4年4月1日現在	令和5年4月1日現在	増 減
会員総数	1,269名	1,265名	-4名
正 会 員	1,113名	1,120名	+7名
準 会 員	0名	1名	+1名
減免会員	103名	100名	-3名
免除会員	52名	43名	-9名
賛助会員	1名	1名	-

## IV. 各会の報告

### 1) 総会

#### 令和4年度定時総会

開催日時：令和4年6月18日（土）16：30～18：00

会 場：シェーンバツハ・サボー 3階 穂高

出席者：48名

（代議員 出席者19名、委任状提出者77名）

#### I. 報告事項

1. 令和4年度行事予定について
2. 各地区会長（支部長）・代議員の人事変更について
3. 令和3年度事業報告について
4. 令和4年度事業報告について
5. 令和4年度収支予算について
6. 東京都医師会への要望書について
7. 令和3年度人工妊娠中絶統計・不妊手術統計の報告について
8. 令和3年度プレグランディン膣坐剤の報告について
9. 令和3年度臨床研究会報告
10. 災害時小児周産期リエゾンについて
11. 令和3年度東京都医師会グループ医学賞 受賞報告
12. 産婦健診公費助成について
13. 偶発事例報告
14. 妊産婦死亡報告事業・重篤合併症報告事業について
15. HPVワクチンのキャッチアップ接種について
16. おぎゃー献金献金額報告
17. ブロック代表・会長協議会報告
18. 日本産婦人科医会代議員選出に関する内規の変更
19. その他  
特になし

#### II. 協議事項

第1号議案	令和3年度決算に関する件	承認
監査報告		承認
第2号議案	負担金の徴収に関する件	承認

議 長：倉島 富代  
副議長：松峯 寿美

## 令和4年度臨時総会

開催日時：令和5年3月11日（土）16：00～17：15

会 場：海運クラブ 2階

出席者：40名

（代議員 出席者15名、委任状提出者70名）

### I. 報告事項

1. 令和4年度事業について
2. 令和5年度事業計画について
3. 令和5年度収支予算について
4. 母体保護法指定医師の更新について
5. 令和5年度妊婦健康診査の変更について
6. 医業対策部アンケート結果報告について
  - 1) 第三回SNS対策アンケートについて
  - 2) オンライン資格確認進捗状況アンケートについて
7. 偶発事例等報告
8. HPVワクチン接種について
9. 令和4年度活動報告
10. 日本産婦人科医会 代議員選出結果について
11. その他  
特になし

議 長：倉島 富代

副議長：松峯 寿美

## 2) 理事会

### 令和4年度第1回理事会議事録

開催日時：令和4年4月6日（水）18：30～20：30

理事定数：19名

出席者：山田会長、松本・対馬・荘各副会長、中林稔・坂田・武知・里見・中野・谷垣・前村・  
中島・中林豊・岩田・水主川・木口・堀・長岡・川嶋各理事、中林・中井各監事

オブザーバー：倉島議長

#### I. 会長挨拶

事業報告提出について作成を進めていただきたい。昨年度は各理事・役員の先生方のおかげで円滑に活動を進めることができた。今年度も事業計画に沿って進めていただきたい。よろしくお願いたします。

#### II. 協議事項1

##### 【総務部】

東京産婦人科医会会員システムリニューアルに係る委託業者プレゼン  
医会本部より700万の予算があり会員管理システム構築を計画。(山田会長)

##### 1. 株式会社マイス・ワン 下平 順弘様

- ・既存の会員システムを利用するので安価。スマホ等、他端末でのアクセス。
- ・クラウド設置を想定。日本産婦人科医会のサーバーとリンク可能。
- ・2023年4月から約1年の開発スケジュール。費用1,100万。保守費用160万/年

<質問>

(中井監事) 日本産婦人科医会と日本産科婦人科学会ではすでに稼働しているのか？

(中野理事) 日本産婦人科医会とリンク（一部流用）させれば費用が抑えられると思うが？

(マイス・ワン) 会員もデータでできるようにしているので、この費用感。あくまでも想定見積りなので、不要なシステムや、詳細を詰め次第、費用の変更はある。

(山田会長) 日母とは別のシステムを構築するという解釈でよいか？

(マイス・ワン) おっしゃるとおり別のシステムを作成する。

##### 2. 株式会社アリストスタイル 吉田 寛様

- ・会員管理に加え中絶報告の管理をデータで行う機能も対応可能。費用約520万。
- ・開発期間6～8か月、保守費用5千～5万/月。別途サーバー費用5万/年。
- ・会員登録や会費請求管理等、宛名印刷機能。中絶の報告書はエクセルの専用シートからアップロード等。

<質問>

1) (中井監事) 会員がパスワードでログインするシステムは、会員が登録情報の変更を勝手にしてしまう心配はないか？

(アリストスタイル) 事務局が変更を承認する形式なので安心してほしい。

2) 会費請求管理について

(アリストスタイル) 詳細は詰める必要があるが、会員の入金情報はデータで管理するので未入金  
の管理も簡易化が可能。

- 3) 中絶報告書のデータでの提出方法について  
 (アリストスタイル) 提出件数は幅があるので、提出用のエクセルシートを用いることで、件数が多い指定医師も対応が可能。提出物は最終的に事務局でとりまとめる。
- 4) (坂田理事) 会員の異動に伴い、会費請求の確認は他会とデータ連携できるのか?  
 (アリストスタイル) データ連携は出来ない。日母の登録情報で会費納入状況の確認は可能。

今回のプレゼンを受け、追加で質問がある場合は、理事会メールへ送ること。  
 最終決定は、5月の理事会とすることで承認。

### Ⅲ. 令和3年度第11回理事会議事録確認

### Ⅳ. 協議事項2

#### 【総務】

1. 会員入退会について  
 標記に関し資料を基に協議。入会10名、退会18名 承認
2. 令和4年度理事会開催日(案)について  
 標記に関し資料を基に協議。 承認
3. 東京都医師会への要望書について(医業対策部、癌対策部、学校保健部)  
 標記に関し資料を基に協議。 承認
4. 日本産婦人科医会予備代議員について  
 標記に関し資料を基に協議。 承認
5. 東京都ユースヘルス事業について
6. 6月18日(土)開催 会長協議会・定時総会・懇親会について  
 昨年はコロナの影響で一部書面開催となったりした。各部で協議事項を検討してほしい。次回理事会で詳細を継続審議。

#### 【学術】

7. 「東京産婦人科臨床フォーラム」共催依頼について  
 標記に関し資料を基に協議。 承認

#### 【医業対策】

8. 産婦健診公費助成要望(東京産婦人科医会の支部長宛資料の送付)の件について  
 標記に関し資料を基に協議。 承認
9. その他  
 なし

### Ⅴ. 報告事項

#### 【総務】

1. 令和4年度日産婦医会会費減免者(日産婦医会第96回総会承認)について  
 東京: 15名
2. 令和4年度ブロック代表者・地区会長・代議員について
3. 令和3年度事業報告の提出依頼について
4. 東京都各科医会協議会令和4年度第1回幹事会開催について  
 日時: 令和4年4月18日(月) 19:30~20:50  
 会場: 東京都医師会館 5階会議室(501~503)
5. 関東ブロック産婦人科医会所属日産婦医会推薦理事候補者について

**【会計】**

6. 会費の納入状況について

**【学術】**

7. 学術委員会（3/28）報告

**【広報】**

8. 広報委員会（3/18）報告

**【母体保護】**

9. 母体保護委員会（3/23）報告

**【母子保健】**

10. 順天練馬病院 地域周産期母子医療センター認定通知

11. NCPR 講習会開催報告

12. 産科救急対応向上事業講習会開催報告

**【社会保険】**

13. 「オンライン診療の適切な実施に関する指針」に基づき緊急避妊薬の調剤が対応可能な薬剤師及び薬局に関する留意事項について

**【医業対策】**

14. 全国医業推進担当者伝達講習会報告

15. 医療機関（主に診療所）向けの「感染対策マニュアル」について

**【医療事故】**

16. 医療事故対策委員会（3/10）報告

17. 偶発事例報告

**【がん対策】**

18. HPV ワクチンのキャッチアップ接種について

**【献金】**

19. 令和3年度おぎゃー献金 献金額と配分施設・大学について

**【その他】**

20. 日本産婦人科医会臨時総会（3/13）報告

21. 第7回母と子のメンタルヘルスフォーラム（6/5埼玉県）

22. 「日本産婦人科医師連盟への寄付金のお願い」について

23. 4月開催委員会日程

1) 広報委員会 4月15日（金）18：30～

記録：中野 義宏

進行：松本 和紀

理事会議長：山田 正興

議事録署名人：中林 正雄

中井 章人

## 令和4年度第2回理事会議事録

開催日時：令和4年5月11日（水）19：00～20：00

理事定数：17名（定足数11名以上）

出席者：山田会長、松本・対馬・荘各副会長、中林稔・坂田・武知・里見・中野・谷垣・前村・  
中島・岩田・水主川・木口・長岡・川嶋各理事、中林監事

オブザーバー：倉島議長

### I. 会長挨拶

新年度に入り、事業計画に沿った活発な活動への謝意とさらなる活動を期待します。

東京都医師会に要望書を提出しました。骨子は、性暴力被害者に対するワンストップ支援センターの病院内への設置と産婦人科医師への研鑽支援、HPVワクチン接種特にキャッチアップに対する啓発と無料化、高等学校への性教育講師派遣に対する補助です。

児童生徒等の月経随伴症状当の早期発見及び保健指導等の実施について学校保健部の役割が重要になってきます。

### II. 令和4年度第1回理事会議事録確認

### III. 協議事項

#### 【総務】

#### 1. 会員入退会について

標記に関し資料を基に協議。入会者10名、退会者6名。

承認

#### 2. 定時総会（6/18）次第について

標記に関し資料を基に協議。

承認

#### 3. 令和4年度ブロック代表者会・会長協議会の次第・議題について

標記に関し資料を基に協議。

承認

#### 4. 令和3年度事業報告について

標記に関し資料を基に協議。

承認

#### 5. 会員データベースのリニューアルについて

株式会社ミス・ワン及び株式会社アリストスタイルから4月にプレゼン頂いた結果に鑑み、株式会社アリストスタイルへ委託する。

承認

#### 【学術】

#### 6. 合同研修会の名称変更について

標記に関し資料を基に協議。

現状：第〇回東京産婦人科医会・東京産科婦人科学会合同研修会並びに第〇回東京産科婦人科学会例会

（案）：第〇回東京産科婦人科学会並びに第〇回東京産婦人科医会との合同研修会

承認

#### 【献金】

#### 7. ベネッセ新規事業に係る分娩施設情報の取扱いについて

標記に関し資料を基に協議。

承認

#### 8. その他

なし

#### IV. 報告事項

##### 【総務】

1. 令和4年度感染症予防検討委員会委員の推薦について
2. 東京都助産師定着促進協議会委員の推薦について
3. 令和4年度医療法第25条第1項の規定に基づく有床診療所への立入検査の実施について
4. 助産師教育指導講習会について
5. 各科医会幹事会報告

##### 【学術・医業対策部】

6. 第308回臨床研究会について
7. 東京産婦人科臨床フォーラム（GEヘルスケア共催）について

##### 【広報】

8. 会誌55号の発刊について

##### 【母体保護】

9. 母体保護法指定医師研修会（5/22）準備状況報告及び指定医更新について

##### 【社会保険】

10. 各科医会から「診療科における注意事項等」の作成について

##### 【医療事故】

11. 偶発事例報告
12. 妊産婦死亡事故報告

##### 【がん対策】

13. HPVワクチンに関する講演会（7/22）について
14. HPVワクチンの接種スケジュールについて
15. ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種に関する相談支援・医療体制強化のための地域ブロック拠点病院整備事業の実施機関の決定について
16. HPVワクチン接種後に生じた症状に関する診療マニュアルの公開について

##### 【献金】

17. おぎゃー献金担当者連絡会（5/15）について
18. おぎゃー献金贈呈式について

##### 【学校保健】

19. 令和4年度「生涯の健康に関する理解促進事業」への協力について

##### 【関東ブロック】

20. 関東ブロック日本産婦人科医会総会における決算委員会委員推薦について
21. 関東ブロック令和4年度役員・幹事・委員会委員について

##### 【その他】

22. 東京都医師会精神医療保険医療福祉委員会からの報告（水主川理事）  
精神疾患を有する妊婦のメンタルヘルスケアの現状についてアンケート調査を行った。現状の問題点として、転院の煩雑さ、精神科担当医が不明確なことがある。産婦健診の延長として、精神保健がある。
23. 日本産婦人科医師連盟より自見はなこ議員支援のお願い（山田会長）
24. 5月開催委員会日程
  - 1) 会計監査会 5月16日（月） 19:00～  
場所：事務局会議室（一部Zoom開催予定）
  - 2) 第2回広報委員会 5月20日（金） 18:30～（Zoom開催）

記録：谷垣 伸治  
進行：対馬ルリ子  
理事会議長：山田 正興  
議事録署名人：中林 正雄  
中井 章人

## 令和4年度第3回理事会議事録

開催日時：令和4年6月1日（水）18：30～20：00

理事定数：19名（定足数11名以上）

出席者：山田会長、松本・対馬・荘各副会長、中林稔・坂田・武知・里見・中野・谷垣・前村・  
中島・中林豊・岩田・水主川・木口・堀・長岡・川嶋各理事、中林・中井各監事

オブザーバー：倉島議長、松峯副議長

### I. 会長挨拶

6/1物価の上昇が続いている、4月の保険改訂はこの値上がりにあっていない感じがします。医療的には1%に満たないと思います。厳しい状況です。関プロ代表者会議に出席します。2時間を目指して終了したいと思います。理事の中島先生の義理の父上が亡くなりました。お悔やみ申し上げます。内規により1万円をご香典として送りたいと思いますので皆さん承認してください。武知先生が事故にあわれて2回手術され本日退院予定とのこと。早い復帰を祈っております。

### II. 令和4年度第2回理事会議事録確認

### III. 協議事項

#### 【総務】

1. 会員入退会について  
標記に関し資料を基に協議。入会者5名、退会者3名。承認
2. 定時総会次第・資料と議案について
  - 1) 令和3年度決算（案）に関する件 承認
  - 2) 負担金の徴収（案）に関する件 承認
3. 産科医療功労者厚生労働大臣表彰候補者の推薦について  
助産師会と東京産婦人科医会と交互に推薦する。今回は助産師会から推薦する。承認
4. 令和4年度各都道府県産婦人科医会職務担当者の照会について  
標記に関し資料を基に協議。承認
5. 東京産科婦人科学会との懇話会について  
標記に関し資料を基に協議。承認
6. その他  
なし

#### IV. 報告事項

##### 【総務】

##### 1. 後援依頼報告

- 1) 第30回母乳育児シンポジウム（主催：日本母乳の会）
- 2) 中央区地区推進事業プログラム：正しく学ぶ“子宮頸癌”とHPVワクチン  
(東京青年会議所より)

##### 2. 日本産婦人科医会理事会報告

##### 3. 第53回全国学校保健・学校医大会「分科会」－研究発表演題申込について

##### 【会計】

##### 4. 会計監査会（5/16）について

##### 【学術】

##### 5. 第43回東京産婦人科医会・東京産科婦人科学会合同研修会並びに第401回東京産科婦人科学会例会について

参加登録者数 472名 会場参加 95名

##### 【広報】

##### 6. 広報委員会（5/20）開催報告

##### 【母体保護】

##### 7. 令和3年度人工妊娠中絶統計、不妊手術届出件数報告について

##### 8. 令和3年度プレグランディン膣坐剤の報告について

##### 【医療事故】

##### 9. 偶発事例月間報告について

##### 【がん対策】

##### 10. Tokyo HPV Vaccine Seminar（7/22）進捗報告

##### 11. 厚労省HPVワクチン拠点病院整備事業「慢性痛モデル事業」医療者講習会

##### 12. 日本婦人科腫瘍学会よりの注意喚起

##### 13. 9価ワクチン接種への補助金導入への動き

##### 【学校保健】

##### 14. 令和4年度「性教育の授業」（中学校）への派遣について

##### 15. 第44回日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会について

##### 【関東ブロック】

##### 16. 関東ブロック幹事会開催報告 5月21日（土）Web開催

##### 【その他】

##### 17. 1) 5月15日におぎゃー献金合奏団によるコンサートが、サントリーホールで開催されました。

2) 宿日直許可が検討された

##### 18. 5月～6月開催委員会日程

1) 第1回学校保健委員会 5月31日（火）18：30～ Zoom開催

2) 関ブロ各都県医会会長会 6月11日（土）15：00～

於：如水会館/Web併用

3) 日本産婦人科医会

決算委員会予備審議会 6月12日（日）9：30～10：30

決算委員会 6月12日（日）総会開会中の時間帯

4) 社保・国保審査協議会 6月13日（月）19：00～ 現地開催

記録：前村 俊満  
進行：荘 隆一郎  
理事会議長：山田 正興  
議事録署名人：中林 正雄  
中井 章人

## 令和4年度第4回理事会議事録

開催日時：令和4年7月6日（水）19：00～21：00

理事定数：18名（定足数11名以上）

出席者：山田会長、松本・対馬・荘各副会長、中林稔・坂田・武知・里見・中野・谷垣・前村・  
中島・中林豊・岩田・水主川・木口・堀・長岡各理事、中林・中井各監事

オブザーバー：倉島議長

### I. 会長挨拶

・物故会員報告（当会元会長 小林 重高先生）黙祷

先日のブロック代表、支部長会議、総会無事に終わり有難うございました。今年度は母体保護法指定医11月が更新、シールの問題について6枚相当以上が必要、会員救済に努力する。東京都教育庁との協議で、性教育活動が認められ、10月から都内高校に産婦人科医を学校医として派遣することになった、長岡理事のサポートを、医会を挙げて行いたい、よろしくお願いします。HPVワクチンキャッチアップ接種、多くの自治体で始まった。キャッチアップ世代は小児科にはこないで産婦人科医の出番。

### II. 令和4年度第3回理事会議事録確認

### III. 協議事項

#### 【総務】

#### 1. 会員入退会について

標記に関し資料を基に協議。入会者7名、退会者12名。承認

#### 2. 理事会下半年開催日（案）について

標記に関し協議。3月11日臨時総会予定 承認

#### 3. 東京産科婦人科学会との懇談会について

標記に関し協議。承認

#### 4. 令和4年度東京都医師会「グループ医学賞」候補者の募集について

標記に関し協議。今年度は特に積極的には応募しないこととなった。承認

#### 5. 産科医療功労者厚生労働大臣表彰候補者の推薦について

標記に関し協議。木下勝之（前日本産婦人科医会 会長）先生を推薦。承認

#### 6. 関ブロ協議会・社保協議会要望事項並びに出席者について

標記に関し協議。承認

#### 【会計】

#### 7. 定款施行細則第8章補則第35条（弔慰）について

会計と総務で検討し、次回理事会で継続審議。

## 【母子保健】

8. 企業共催依頼について  
標記に関し協議。
9. その他  
特になし

承認

## IV. 報告事項

### 【総務】

1. 東京都要保護児童対策地域協議会代表者会議委員の推薦について
2. 令和4年度定時総会（6/18）について
3. 第97回・第98回 日本産婦人科医会総会（6/12）報告
4. 関東ブロック会長会・役員会（6/11）報告
5. 各科医会総会（7/4）報告

### 【会計】

6. 東京都予防医学協会からの負担金決定額等について

### 【広報】

7. 広報部報告

### 【学術】

8. 第308回東京産婦人科医会臨床研究会について
9. 専門医共通講習単位の申請について

### 【母子保健】

10. 母子保健部報告
  - 1) 令和4年度東京都新生児研修事業に係る契約の締結について
  - 2) 令和4年度東京都産科救急対応向上事業に係る契約の締結について

### 【医業対策】

11. 第308回臨床研究会講師について
12. 令和4年度児童虐待対応研修【基礎講座第1回】の開催について

### 【医療事故】

13. 偶発事例月間報告
14. フェインジェクト<sup>®</sup> 静注500mgについて

### 【がん対策】

15. 厚労省 HPV ワクチン拠点病院整備事業医療者講演会報告
16. 東京都予防医学協会「2022年検査案内書」について
17. 東京青年会議所 HPV ワクチン事業について

### 【献金】

18. おぎゃー献金還付金について
19. おぎゃー献金施設・大学補助金申請について

### 【学校保健】

20. 包括的性教育の推進と確実な避妊法の普及を進めるプロジェクト

### 【その他】

21.
  - 1) 医療機関に対する Google の口コミについて（堀理事）
  - 2) 母体保護法指定医でも同じグループ内だが指定施設外で手術して3ヶ月の資格停止になった例があった。届け出た医療機関でのみ手術ができるので注意。（中野理事）
  - 3) 会誌の広告協賛について役員へ協力を依頼した。（里見理事）

## 22. 7月開催委員会日程

- 1) がん対策委員会 7月7日(木) 18:30～ Zoom開催
- 2) 広報委員会 7月8日(金) 18:30～ Zoom開催

記録：中島由美子  
進行：松本 和紀  
理事会議長：山田 正興  
議事録署名人：中林 正雄  
中井 章人

## 令和4年度第5回理事会議事録

開催日時：令和4年9月7日(水)

理事定数：19名(定足数11名以上)

出席者：山田会長、松本・対馬・荘各副会長、中林稔・坂田・武知・里見・中野・谷垣・前村・中島・中林豊・岩田・水主川・木口・堀・長岡・川嶋各理事、中林監事

オブザーバー：倉島議長

### I. 会長挨拶

新型コロナも未だ油断できず、妊婦さんの医療体制確保に尽力いただきたい。アマゾンがオンライン診療ポータルサイトを立ち上げ、処方箋を受け、薬を配送するサービスを開始する記事が日経新聞に掲載された。コロナの影響もあって、医業のあり方が変わっていく可能性があり、影響を注視する必要がある。東京都教育委員会から、産婦人科専門医が非常勤嘱託学校医として任命され、教育現場での活躍が期待されるが、人数、報酬などに課題が多い。

### II. 令和4年度第4回理事会議事録確認

### III. 協議事項

#### 【総務】

#### 1. 会員入退会について

標記に関し資料を基に協議。入会者13名、退会者18名。

承認

#### 2. 日精診ジャーナルの原稿執筆依頼

標記に関し資料を基に協議。

承認

#### 3. 会員データベース等進捗報告

標記に関し資料を確認、進行スケジュールの周知を行った。

承認

#### 【会計】

#### 4. 慶弔金(香典内規)について

標記に関し資料を基に協議。

承認

#### 【病院】

#### 5. 東京都医師会精神保健医療福祉委員会のアンケート依頼

標記に関し資料を基に協議。

承認

6. その他  
特になし

#### IV. 報告事項

##### 【総務】

1. 敬人会勉強会のご案内（9/12）について
2. 日本産婦人科医会倫理・法制部会報告（8/24）
3. 東京産科婦人科学会との懇談会（7/26 オンライン）報告
4. 東京思春期保健研究会への事業協力をお願い
5. 令和4年度東京都麻しん・風しん対策会議委員の推薦について

##### 【学術】

6. 第308回臨床研究会（10/22）について
7. 第44回東京産婦人科医会・東京産科婦人科学会合同研修会（12/10）について

##### 【広報】

8. 広報委員会（7/15）について

##### 【母体保護】

9. 母体保護委員会（9/4）報告

##### 【母子保健】

10. 産科救急対応向上事業・NCPR講習会の開催場所について

##### 【社会保険】

11. 関東ブロック協議会・社保協議会（10/31）について

##### 【医業対策】

12. 令和4年度「性犯罪・性暴力被害者支援のための医療従事者向け研修」打合せについて
13. 児童虐待対応研修（専門講座第1回、第2回）開催のご案内

##### 【医療事故対策】

14. 医療事故調査制度研修会（7/14）報告
15. 偶発事例月間報告

##### 【がん対策】

16. 第1回がん対策委員会（7/7）報告

##### 【学校保健】

17. 学校保健部報告
  - ①性教育の授業（中学）（授業）
  - ②都立学校における専門医派遣事業（高校）（支援）
  - ③生涯の健康に関する理解促進事業（高校）（授業）
  - ④都立学校産婦人科学校医  
本年10月より学校医10校、来年からは15校となる。
  - ⑤ユースヘルスケア

##### 【その他】

18.
  - 1) 令和4年度第2回各科医会協議会（10/3）開催
  - 2) 医療専門サイト m3.com でのおぎゃーポイント献金について（堀理事）
  - 3) 東京都予防医学協会「妊婦甲状腺機能検査受託終了のお知らせ」について
19. 9月委員会日程
  - 1) 広報委員会 9月9日（金） 18:30～Zoom会議
  - 2) がん対策委員会 9月中 開催予定→10月6日開催予定

3) 学校保健委員会 9月中 開催予定

記録：中林 豊  
進行：対馬ルリ子  
理事会議長：山田 正興  
議事録署名人：中林 正雄  
中井 章人

## 令和4年度第6回理事会議事録

開催日時：令和4年10月5日（水）19：00～20：30

理事定数：18名（定足数11名以上）

出席者：山田会長、松本・対馬・荘各副会長、中林稔・坂田・武知・里見・中野・谷垣・前村・  
中島・中林豊・岩田・水主川・木口・堀・長岡各理事、中林・中井各監事

オブザーバー：倉島議長

### ※予防医学協会担当者様より 新生児マススクリーニングについて

- ・資料に基づいて、拡大新生児スクリーニング（公費以外の新生児マススクリーニング）について説明された。
- ・公費化にむけて、対象疾患拡大のための選定基準を確立する研究が開始されている。
- ・東京都における拡大新生児スクリーニング検査について説明。
- ・拡大新生児スクリーニング検査を有償検査として事業化する。事業化時期は2023年4月の予定で、対象は東京都内全域で出生する新生児。有償で開始し、実績を重ねて東京都をはじめ関係各所と連携して公費化を目指す。

### I. 会長挨拶

4月からのオンライン資格確認について前村理事からの解説をTAOGニュースへ掲載する。宿日直許可について中井監事から報告事項でのちほど解説をする。東京都からいろいろな事業が下りてきている。そのひとつにユースヘルスケア事業がある。関東ブロックで妊婦健診診査受診券の単価を調べたところ東京都は低いため対策を講じていく。

### II. 令和4年度第5回理事会議事録確認

### III. 協議事項

#### 【総務】

1. 会員入退会について  
標記に関し資料を基に協議。入会者4名、退会者3名。 承認
2. 令和5年度各部事業計画案について  
次回理事会までに提出するよう周知した。 承認
3. 令和4年度臨時総会（3/11）の開催概要について 承認
4. その他  
1月21日開催の第2回ブロック代表者会議はお茶の水・損保会館にて開催。 承認

#### IV. 報告事項

##### 【総務】

1. 東京ユースヘルスケア事業について
2. 日本産婦人科医会理事会・地域代表全国会議報告（山田会長・谷垣理事）
3. 東京都各科医会協議会第2回（10/3）報告
4. 産科医療功労者厚生労働大臣表彰について
5. 新生児聴覚検査連絡協議会委員の推薦について

##### 【会計】

6. 令和4年度（4月～9月）会費納入状況について
7. 理事会・委員会の交通費等の支払（口座振込）について

##### 【学術】

8. 第309回東京産婦人科医会臨床研究会について
9. 女性医療フォーラム（共催：バイエル薬品株式会社）について

##### 【広報】

10. 広報委員会（9/9）報告

##### 【母子保健】

11. 妊産婦検診の公費負担額について

##### 【医業対策】

12. 医業対策委員会（10/4）開催報告

##### 【医療事故対策】

13. 偶発事例等月間報告

##### 【がん対策】

14. HPVワクチンについての報告

##### 【学校保健】

15. 学校保健委員会（9/27）開催報告
16. 性教育講師育成講演会（11/19）について

##### 【その他】

17. 1) 都内不妊治療の状況に係る相談について（松本副会長）  
2) HP管理業者委託後のサーバー管理について（里見理事）
18. 10月開催委員会日程
  - 1) がん対策委員会 10月6日（木） 18：30～ Zoom会議
  - 2) 関東ブロック協議会・社保協議会10月6日（木）ホテルポートプラザちば
    - ・各都県医会会長会 11：00～12：00
    - ・社保委員会 11：00～12：30
    - ・母子保健委員会 11：00～12：00
    - ・協議会/社保協議会 13：00～16：00
  - 3) 献金委員会（10月21日 19：00～医会事務局・Zoomでのハイブリット開催）

記録：岩田みさ子

進行：荘 隆一郎

理事会議長：山田 正興

議事録署名人：中林 正雄

中井 章人

## 令和4年度第7回理事会議事録

開催日時：令和4年11月9日（水）18：30～20：30

理事定数：19名（定足数11名以上）

出席者：山田会長、松本・対馬・荘各副会長、中林稔・坂田・武知・里見・中野・谷垣・前村・  
中島・中林豊・岩田・水主川・木口・堀・長岡・川嶋各理事、中林監事

オブザーバー：松峯副議長

### I. 会長挨拶

今年も11月に入り、残り約2ヶ月になった。COVID-19感染者数は北海道を含めて増加傾向にあるが、COVID-19のワクチン接種は小児を含めて進んでいる。本日は、来年度の事業計画も含めて協議を行う予定である。

### II. 令和4年度第6回理事会議事録確認

### III. 協議事項

#### 【母子保健/東京都福祉保健局 担当：青山課長】

#### 1. 妊婦健康診査受診票の助産所での利用について

都内助産所において、共通受診票を使用して妊婦健康診査を実施できる体制構築に向けて、都・区市町村をメンバーとして検討会を設置し、課題や方向性を整理する。共通受診票の医療機関名の部分には助産所名を記載し、各助産所が集合体として各区市町村に請求する。本件に関する意見や質問は約1週間を目処に本理事会メーリングリストで行う。 継続審議

#### 【総務】

#### 2. 会員入退会について

標記に関し資料を基に協議。入会者6名、退会者6名。 承認

#### 3. 令和5年度行事予定案について

標記に関し協議。 承認

#### 4. 令和5年度各部事業計画案について

標記に関し資料を基に協議。 継続審議

#### 5. 選挙管理委員会の設置について

標記に関し資料を基に協議。 承認

#### 6. 令和4年度第2回ブロック代表者会・会長協議会（1/21）について

標記に関し資料を基に協議。 承認

#### 【医業対策】

#### 7. 第3回SNSに関するアンケートについて

アンケート実施、方法について協議。 承認

#### 8. オンライン資格確認申請状況アンケートについて

アンケート実施、方法について協議。 承認

#### 【その他】

#### 9. 年末年始本会事務局休み中の緊急連絡先について

標記に関し協議。  
令和4年12月28日（水）～令和5年1月4日（水）とする。 承認

10. その他

山田会長から宿日直届は重要課題であるが、この課題に関する担当理事は決まっていないことが指摘された。山田会長より働き方改革担当理事として川嶋理事が指名された。承認

IV. 報告事項

**【総務】**

1. 東京都各科医会協議会忘年会について
2. 令和4年武見セミナー（12/12）について
3. 関東ブロック産婦人科医会関東ブロック協議会・社保協議会（10/31）開催報告

**【会計】**

4. 令和4年度上半期会計報告について
5. 令和4年度会費未納者（10月31日現在）について

**【学術】**

6. 第308回臨床研究会（10/22）について
7. 第309回臨床研究会（3/19）について

**【母体保護】**

8. 母体保護法指定医の更新について
9. 令和4年度家族計画・母体保護法指導者講習会（12/3）開催について

**【母子保健】**

10. HTLV-1感染予防東京プロトコールについて

**【医業対策】**

11. 第308回臨床研究会における大阪SACHICO理事加藤治子先生ご講演について
12. 児童虐待対応研修【専門講座第4回】開催

**【医療事故対策】**

13. 偶発事例等月間報告
14. 全国医療安全担当者会議（10/16）開催報告

**【がん対策】**

15. がん対策委員会（10/6）報告
16. HPVワクチン実数調査アンケートについて
17. 調布市における子宮頸（けい）がん予防・啓発活動の実施について

**【献金】**

18. 献金委員会（10/27）報告

**【学校保健】**

19. 11/19（土）性教育講習会開催予定
20. 学校医進捗状況について
21. 学校医応募の反響について

**【その他】**

22. 1) 不妊治療費（先進医療）助成事業について（松本副会長）  
2) 厚生労働省HP「医療従事者の勤務環境の改善について」（岩田理事）
23. 11月開催委員会日程
  - 1) 関ブロ幹事会・広報委員会  
11月12日（土）Zoom開催 幹事会15時～、広報委員会16時30分～
  - 2) 学術委員会 11月開催予定
  - 3) 病院部勤務医委員会 11月頃開催予定

記録：水主川 純  
進行：松本 和紀  
理事会議長：山田 正興  
議事録署名人：中林 正雄  
中井 章人

## 令和4年度第8回理事会議事録

開催日時：令和4年12月7日（水）18：30～21：00

理事定数：18名（定足数11名以上）

出席者：山田会長、松本・対馬・荘各副会長、中林稔・坂田・武知・里見・中野・前村・中島・  
中林豊・岩田・水主川・木口・堀・長岡・川嶋各理事、中林・中井各監事

オブザーバー：倉島議長

### I. 会長挨拶

今年も12月に入り、朝晩大変寒くなってまいりました。コロナウイルスに対するオミクロン株対応ワクチン接種はもう済まされましたでしょうか？本日は松本副会長を中心に「出産費用の見える化」などの話題を中心に熱心な討議をよろしくお願い致します。

### II. 令和4年度第7回理事会議事録確認

### III. 協議事項

#### 【総務】

1. 会員入退会について  
標記に関し資料を基に協議。入会者2名、退会者4名。 承認
2. 日産婦医会名誉会員・特別会員候補者の推薦について  
標記に関し資料を基に協議。 承認
3. 第144回関東連合産科婦人科学会共催シンポジウム演者推薦依頼について  
標記に関し資料を基に協議。里見操緒理事を推薦し承認。
4. 令和4年度第2回ブロック代表者会・会長協議会について  
日時：令和5年1月21日（土）15時30分～ 於：損保会館  
標記に関し資料を基に協議。 承認
5. 令和5年度行事予定案について  
標記に関し資料を基に協議。 承認
6. 令和5年度各部事業計画案と事業予算額案について  
標記に関し資料を基に協議。 承認
7. 日本産婦人科医会代議員の選出について  
標記に関し資料を基に協議。 承認
8. 令和4年度臨時総会（3/11）について  
標記に関し資料を基に協議。 承認
9. 令和5年度定時総会（6月）について  
標記に関し資料を基に協議。 承認

10. インボイス制度について  
標記に関し資料を基に協議。

承認

**【その他】**

11. 1) 予算編成委員会の日時を協議のうえ  
令和5年1月26日(木)18:30より、ZOOM会議として開催決定。  
2) 令和5年3月19日開催予定の第309回臨床研究会のスポンサーについて  
演題は①がん対策部より「乳がん検診について」②学術部より「子宮がん・卵巣がんについて」③前村理事による「保険関係の話題について」となっているが、スポンサーの関係で、講演①、③はリアル及びオンデマンドの形式で、②は現地開催のみの講演となることが、承認された。

**IV. 報告事項**

**【総務】**

1. 選挙管理委員会委員について
2. 関東ブロック各都県医会会長会(11/26)報告
3. 出産一時金増額と出産費用見える化、保険適用、現物給付への流れ

**【広報】**

4. TAOGニュース1月号進捗報告

**【母体保護】**

5. 母体保護法指定医師更新最終報告

**【母子保健】**

6. NHSシンポジウム(12/4)開催報告
7. HTLV-1について

**【医業対策】**

8. アンケート結果について
  - 1) SNS対策アンケート第三回集計結果報告
  - 2) オンライン資格確認進捗状況についてのアンケート結果報告
9. 令和4年度東京都要保護児童対策地域協議会代表者会議について

**【医療事故】**

10. 第13回医療事故調査制度研修会(11/10)開催報告
11. 偶発事例月間報告

**【がん対策】**

12. HPVワクチンに関する最新情報について
13. HPVワクチン接種数調査 進捗報告

**【学校保健】**

14. 性教育講習会(11/19)報告

**【その他】**

15. 里見理事より、府中市での会合に出席の際、会員より最近、不妊症に使用する治療薬の一部(HMG、ゴナール)が不足して困っているとの意見が出され、何か医会として対応できないかとの質問があったが、現時点では具体的な対応策は無く、工夫した診療をしばらく継続せざるを得ないとの結論となった。
16. 12月・1月開催委員会日程
  - 1) 選挙管理委員会 12月9日(金)19:00～  
於：事務局会議室、Zoom使用

- 2) 学校保健委員会 12月23日(金) 19:00～ Zoom開催
- 3) 広報委員会 1月6日(金) 18:30～ Zoom開催
- 4) 予算編成会議 1月26日(木) 18:30～ Zoom開催

記録：木口 一成  
 進行：対馬ルリ子  
 理事会議長：山田 正興  
 議事録署名人：中林 正雄  
 中井 章人

## 令和4年度第9回理事会議事録

開催日時：令和5年1月11日(水) 18:30～20:30

理事定数：18名(定足数11名以上)

出席者：山田会長、松本・対馬・荘各副会長、中林稔・坂田・武知・里見・中野・谷垣・中島・中林豊・岩田・水主川・木口・堀・長岡・川嶋各理事、中林監事

オブザーバー：倉島議長、松峯副議長

### I. 会長挨拶

あけましておめでとうございます。妊婦の感染者も減少していないのでまだ予断を許さない状態だと思います。インフルエンザにも注意していきましょう。

本日は予算案、ブロック代表者会議に関する討議をお願いします。

### II. 令和4年度第8回理事会議事録確認

### III. 協議事項

#### 【総務】

#### 1. 会員入退会について

標記に関し資料を基に協議。入会者1名、退会者2名。 承認

#### 2. 令和4年度第2回ブロック代表者会・会長協議会(1/21)について

標記に関し資料を基に協議。 承認

#### 3. 令和4年度臨時総会(3/11)について

標記に関し資料を基に協議。 承認

#### 4. 令和5年度定時総会(6/17)について

議題の確認を行った。

#### 【総務・会計】

#### 5. 令和5年度各部事業計画案と事業予算案について

標記に関し資料を基に協議。 承認

#### 【がん対策】

#### 6. 調布市における自己採取HPV検査について

標記に関し資料を基に協議。 承認

7. その他  
なし

#### IV. 報告事項

##### 【総務】

1. 会費減免者の申請について（2023年度会費減免者一覧）
2. 選挙管理委員会（12/9）および選挙結果について
3. 東京都医師会への要望について

##### 【会計】

4. 会費の納入状況について

##### 【学術】

5. 第309回臨床研究会について

##### 【広報】

6. 広報委員会（1/6）について

##### 【母体保護】

7. 指定医師の指定基準細則の改正について
8. 母体保護法の配偶者同意をめぐる損害賠償請求控訴事件について

##### 【母子保健】

9. 出産・子育て応援交付金事業について

##### 【医業対策】

10. とうきょう若者ヘルスサポート相談窓口
11. 児童虐待対応研修【専門講座第5回】開催案内

##### 【医療事故】

12. 偶発事例月間報告

##### 【がん対策】

13. HPV ワクチン関連

##### 【学校保健】

14. 学校保健委員会（12/23）開催報告

##### 【その他】

15. 東京都各科医会協議会令和4年度第3回幹事会開催について
16. 1月開催委員会日程
  - 1) 予算編成会議 1月26日（木）18：30～ Zoom会議

記録：堀 量博  
進行：荘 隆一郎  
理事会議長：山田 正興  
議事録署名人：中林 正雄  
中井 章人

## 令和4年度第10回理事会議事録

開催日時：令和5年2月1日（水）18：30～20：45

理事定数：18名（定足数11名以上）

出席者：山田会長、松本・対馬・荘各副会長、中林稔・坂田・武知・里見・中野・谷垣・前村・中島・中林豊・岩田・木口・堀・長岡・川嶋各理事、中林・中井各監事

### I. 会長挨拶

2月になりました。寒さ本番ですので皆様ご自愛ください。ブロック代表者会議もお疲れ様でございました。出産子育て支援金は自治体単位の話なので各自確認をしてください。コロナについては5月8日から五類になります。詳細はこれからとなるので最新情報を注視してください。

### II. 令和4年度第9回理事会議事録確認

### III. 協議事項

#### 【総務】

#### 1. 会員入退会について

標記に関し資料を基に協議。入会者2名、退会者5名。

承認

#### 2. 令和5年度事業計画（案）について

標記に関し資料を基に協議。

承認

#### 3. 臨時総会（3/11）について

標記に関し資料を基に協議。

承認

#### 4. 東京都医師会に対する要望について

標記に関し資料を基に協議。

承認

#### 【会計】

#### 5. 令和5年度収支予算書（案）について

標記に関し資料を基に協議。

承認

#### 6. 受取負担金について

標記に関し資料を基に協議。

承認

#### 7. その他

なし

### IV. 報告事項

#### 【総務】

#### 1. 第2回ブロック代表者会及び会長協議会（1/21）について

#### 2. 第日本専門医機構単位申請について

#### 3. 他会委員推薦について：難聴児の早期支援及び関係機関連携強化協議会

#### 【会計】

#### 4. 令和4年度予算編成会議（1/26）報告

#### 【学術】

#### 5. 第309回東京産婦人科医会臨床研究会の開催案内について

#### 6. 第45回合同研修会について

## 【母子保健 / 社会保険】

7. 産婦健診の単価引き上げについて

## 【医療事故対策】

8. 偶発事例月間報告

## 【献金】

9. 第8回おぎゃー献金推進イベント（1/21）報告

## 【学校保健】

10. 令和5年度学校保健部事業について

## 【その他】

11. 1) 東京都麻しん風しん対策会議（1/17）開催報告（松本副会長）

2) 会誌特集のテーマ、TAOGニュースについて（里見理事）

3) 大田区：2月から出産子育て支援金の給付開始（前村理事）

12. 2月開催委員会日程

1) 関東ブロック幹事会・社保委員会 2月4日（土）16：30～Web開催

2) 各科医会協議会第3回幹事会 2月6日（月）19：30～20：50

於：東京都医師会館

記録：長岡 美樹

進行：対馬ルリ子

理事会議長：山田 正興

議事録署名人：中林 正雄

中井 章人

## 令和4年度第11回理事会議事録

開催日時：令和5年3月1日（水）18：30～20：30

理事定数：18名（定足数11名以上）

出席者：山田会長、松本・荘各副会長、中林稔・坂田・武知・里見・中野・谷垣・前村・中島・  
中林豊・岩田・水主川・木口・堀・長岡・川嶋各理事、中林・中井各監事

オブザーバー：倉島議長、松峯副議長

### I. 会長挨拶

3月に入り暖かくなってきたが、花粉症が辛い先生もいらっしゃるかと思う。最近のニュースでは、出生数が80万人を切り、東京都の出生数も10万を割ったと聞く。人口が一番多いとされる団塊の世代が50代なので、出産できる人の分母が少なくなったことが原因の一つであるとも言える。婚姻数はやや増えたようだが、異次元の子育て対策といっても、政策が急に増えるわけではなく、財源は厳しいと思う。妊娠・出産のできる人の生活は苦しい時期が続くと思うので、次年度はこういった面をフォローすることも活動視野にいれていきたいと思う。

### II. 令和4年度第10回理事会議事録確認

### Ⅲ. 協議事項

#### 【総務】

1. 会員入退会について  
標記に関し資料を基に協議。入会者5名、退会者4名。 承認
2. 令和4年度臨時総会（3/11）について  
標記に関し資料を基に協議。 承認
3. 東京都医師会への要望について  
標記に関し資料を基に協議。 承認
4. 本会役員選挙 選挙管理委員会の立ち上げについて  
標記に関し資料を基に協議。 承認
5. 会員データベースのリニューアルについて  
標記に関し、見積り金額の修正について協議。 承認

#### 【学術】

6. 女性医療フォーラム（5/27）共催依頼について  
標記に関し資料を基に協議。 承認

#### 【母子保健】

7. HTLV-1東京プログラムについて  
標記に関し資料を基に協議。 承認

#### 【社会保険】

8. 標記に関し資料を基に協議し継続審議することとなった。
9. その他  
なし

### Ⅳ. 報告事項

#### 【総務】

1. 各科医会協議会令和4年度第3回幹事会（2/6）開催報告
2. 令和4年度事業報告について
3. 敬人会勉強会（3/13）について

#### 【会計】

4. 会費の納入状況について
5. 会計監査会日程について

#### 【学術】

6. 第309回臨床研究会進捗状況報告

#### 【母体保護】

7. 母体保護委員会（2/9）開催報告
8. 経口中絶薬について

#### 【母子保健】

9. 東京都産科救急対応向上事業講習会・NCPR講習会 開催報告

#### 【医療事故対策】

10. 偶発事例月間報告

#### 【がん対策】

11. HPVワクチン接種数アンケートについて

#### 【学校保健】

12. 令和5年度学校保健委員会委員について

【その他】

13. HPリニューアル報告

14. 3月開催委員会日程

1) 医療事故対策委員会 3月9日(木) 19:00～Zoom会議

2) 病院部・勤務医委員会 3月16日(木) 18:30～Zoom会議

記録：川嶋 一成

進行：荘 隆一郎

理事会議長：山田 正興

議事録署名人：中林 正雄

中井 章人

### 3) ブロック代表者会・会長協議会

#### 令和4年度第1回ブロック代表者会及び会長協議会

開催日時：令和4年6月18日（土）15時～16時30分

会 場：シェーンバッハ・サポー 3階 穂高

#### I. 報告事項

- 1) 令和4年度事業予定
- 2) 各地区会長（支部長）・代議員の人事変更について
- 3) 令和3年度事業報告について
- 4) 令和4年度事業計画について
- 5) 令和4年度収支予算について
- 6) 東京都医師会への要望書について
- 7) 令和3年度人工妊娠中絶統計・不妊手術統計の報告について
- 8) 令和3年度プレグランディン陸坐剤の報告について
- 9) 令和3年度臨床研究会報告
- 10) 災害時小児周産期リエゾンについて
- 11) 令和3年度東京都医師会グループ医学賞 受賞報告
- 12) 産婦健診公費助成について
- 13) 偶発事例報告
- 14) 妊産婦死亡報告事業・重篤合併症報告事業について
- 15) HPVワクチンのキャッチアップ接種について
- 16) おぎゃー献金献金額報告
- 17) 日本産婦人科医会代議員選出に関する内規の変更
- 18) その他  
特になし

#### II. 協議事項

- 1) 地区（支部）からの要望・連絡事項（事前に提出依頼）

<質問：東哲徳地区会長（渋谷区）>

・子宮頸がんワクチン2価、4価に関しては行政より補助があるが、9価ワクチンにはそれがない。日本の一部地域では補助があると認識している。この件に関して東京産婦人科医会の方針を伺いたい。また、渋谷区医師会で、渋谷区議会議員と渋谷区医師会会員とで意見交換会を行った旨報告した。

<回答：木口一成理事>

・当日資料を基に、癌対策担当木口理事より回答。

定期予防接種事業は、地方自治体の自治事務であり、東京産婦人科医会としては地方での補助についての情報を地区会長に情報提供を行い、各地区医師会からの要望をお願いすることになるかと思う。かなり高額なワクチンであり、国の動向を注視することが大切と考える。また、医会としてはキャッチアップを含め定期接種の安全な接種体制の下で接種率の向上を東京小児科医会とも連携して推し進めていくことが重要ではないかと考えている。

## 令和4年度第2回ブロック代表者会及び会長協議会

開催日時：令和5年1月21日（土）15時30分～17時15分

会場：損保会館 5階（502-503）

### I. 各部報告事項

#### 1. 総務部

1) 出産費用の見える化について

2) 庶務報告

（会員数、令和4年度入会正・準会員・減免会員・物故会員報告、令和4年度事業報告、令和5年度行事予定）

#### 2. 母体保護部

1) 母体保護法指定医師の更新について

2) 令和4年度第3回（臨時）母体保護法指定医師研修会 開催報告

3) 令和4年度プレグランディン膣坐剤報告 提出のお願い

#### 3. 母子保健部

1) HTLV-1妊婦の取り組み

2) NHSシンポジウム（12/4）開催報告

3) 出産・子育て応援交付金事業について

#### 4. 社会保険部：不妊治療の保険適用の課題

#### 5. 医業対策部

1) 性犯罪・暴力被害者支援のための医療従事者対象研修会について

2) 第3回SNS対策アンケート結果報告

3) オンライン資格確認進捗状況アンケート結果報告

4) 産婦健診公費助成の要望について

#### 6. 医療事故対策部：偶発事例等報告

#### 7. 癌対策部：各地区の子宮がん・乳がん検診の実施状況調査報告について

#### 8. 学校保健部：都内中学校における性教育指導について

1) 都内中学校・高校における性教育指導について

2) 学校医について

#### 9. その他

1) 選挙管理委員会からの報告（本会選出日本産婦人科医会代議員）

### II. 支部からの要望・連絡事項

#### 1. 経口中絶薬による中絶の施行について東京産婦人科医会の方針を伺いたい。（杉並区）

<回答：中野義宏理事>

メフィーゴパック（ミフェプリストン＋ミソプロストール）が近々薬事承認される見込み。適応は、妊娠9週（63日）以下で、120例の治験では、93%が成功。

腹痛と嘔吐の副作用が見られた、承認後6か月間は、有床医療機関（夜間対応）でのみ使用できる見込み。その後は、夜間対応など後方病院との問題や、不成功例の対応、費用が問題。

#### 2. 緊急避妊薬OTC化について東京産婦人科医会の方針を伺いたい。（杉並区）

<回答：中林豊理事>

日本産婦人科医会では、性教育がきちんと行われていない状況では、反対であると慎重な姿

勢を示してきた。しかし、令和3年に行われたアンケートでは、薬剤師の研修等の条件付き賛成を含めると、会員の55%が賛成しました。同年より研修修了薬剤師のみ販売できる形で、OTC化されています。日曜休日などで手に入れやすい環境作りはやむを得ないと考えます。

### Ⅲ. おぎゃー献金推進イベント

令和3年度に助成を受けた2施設と5大学の施設紹介、研究内容の発表を行った。

## V. 各部事業報告

### 定款第4条

- 1) 女性の保険・医療・福祉に関する事業  
主に医業対策部、医療事故対策部、病院部、癌対策部が行った
- 2) 母子保健に関する事業  
主に母子保健部、学校保健部が行った
- 3) 母体保護法の適正なる運営と実施・啓発に関する事業  
主に母体保護部が行った
- 4) 会員の学術研修に関する事業  
主に学術部が行った
- 5) 会員の品位向上と福祉に関する事業  
主に献金部が行った
- 6) その他本会の目的達成に関する事業  
主に総務部、会計部、広報部、社会保険部が行った

## VI. 各部活動報告

### 《総務部》

担当理事 中林 稔

総務部

担当副会長 松本 和紀

担当理事 中林 稔

副担当理事 中林 豊

#### 令和4年度事業計画

1. 日本産婦人科医会・日本産科婦人科学会との協調と連携
2. 日本医師会・東京都医師会との関連業務の推進と協力
3. 本会各委員会の円滑な活動への支援
4. 本会各地区の活動への支援
5. 関連諸団体との連携
6. 令和4年度日本産婦人科医会代議員選挙のための選挙管理委員会設立

令和4年度は新型コロナウイルス感染の影響も弱まり、多くの会議を現地で開催することができた。事業計画通り日本産婦人科医会・日本産科婦人科学会との協調と連携、日本医師会・東京都医師会との関係業務の推進と協力を行った。特に妊婦健診における公費負担・HPVワクチン接種状況等に関して、学会と情報を共有しながら東京都医師会を通して要望書を提出した。また今年度も、東京都福祉保健局ならびに日本産婦人科医会等から届いた通達文は、各地区医会へ通知・案内をし、詳細はホームページにも掲載をした。

令和4年6月の定時総会及び令和5年3月の臨時総会はどちらも現地開催で行われた。

他に、日本産婦人科医会代議員選挙が行われ、東京都より6名の代議員の他、今回初めて設置された予備代議員が2名選出された。

## 令和4年度 事業報告

- |     |                         |   |                       |
|-----|-------------------------|---|-----------------------|
| 1.  | 定時総会                    | 令和4年 6.18                                 | 於 シェーンバッハ・サポー         |
| 2.  | 第1回ブロック代表者会及び会長協議会      | 令和4年 6.18                                 | 於 シェーンバッハ・サポー         |
|     | 第2回ブロック代表者会及び会長協議会      | 令和5年 1.21                                 | 於 損保会館                |
| 3.  | 理事会                     | 11回                                       |                       |
|     |                         | 令和4年 4.7 5.12 6.2 7.7 9.1 10.6 11.10 12.1 |                       |
|     |                         | 令和5年 1.11 2.1 3.1                         |                       |
| 4.  | 母体保護法指定医師研修会            | 3回  |                       |
|     |                         | 令和4年 5.22 11.27                           | 於 東京都医師会館             |
|     |                         | 令和4年 9.4                                  | 於 ビジョンセンター永田町 / Web開催 |
| 5.  | 指定医交付会（都医）              | 6回  |                       |
|     |                         | 令和4年 4.6 6.1 8.3 10.5 12.7                |                       |
|     |                         | 令和5年 2.1                                  |                       |
| 6.  | 臨床研究会                   | 2回  |                       |
|     |                         | 令和4年 10.22                                | 於 新宿ファーストウエスト         |
|     | ※ハイブリッド開催               | 令和5年 3.19                                 | 於 アルカディア市ヶ谷           |
|     |                         | 3.24～30                                   | Web開催（オンデマンド配信）       |
| 7.  | 東京産婦人科医会・東京産科婦人科学会合同研修会 | 2回  |                       |
|     | ※ハイブリッド開催               | 令和4年 5.21                                 | 於 JA共済ビルカンファレンスホール    |
|     |                         | 5.27～6.2                                  | Web開催                 |
|     |                         | 12.10                                     | 於 JA共済ビルカンファレンスホール    |
| 8.  | 社保・国保審査委員協議会            | 令和4年 6.13                                 | 於 潮夢来                 |
| 9.  | おぎゃー献金推進イベント            | 令和5年 1.21                                 | 於 損保会館                |
| 10. | 部会・委員会（予定含）             |   |                       |
|     | ① 総務                    | 2回  |                       |
|     | ・選挙管理委員会                | 令和4年 12.9                                 |                       |
|     |                         | 令和5年 1.12                                 |                       |
|     | ② 会計                    | 2回  |                       |
|     |                         | 令和4年 5.16                                 |                       |
|     |                         | 令和5年 1.26                                 |                       |
|     | ③ 学術                    | 1回  |                       |
|     |                         | 令和5年 3.17                                 | Web開催                 |
|     | ④ 広報                    | 5回  |                       |
|     |                         | 令和4年 4.15 5.20 7.8 9.9                    | Web開催                 |
|     |                         | 令和5年 1.6                                  | Web開催                 |
|     | ⑤ 母体保護                  | 2回  |                       |
|     |                         | 令和4年 5.10                                 | Web開催                 |
|     |                         | 令和5年 2.9                                  | Web開催                 |

⑥ 母子保健	8回		
(産科救急対応向上事業による講習会)			
	令和4年	12.24 12.25	於 日本産婦人科医会会議室
	5年	1.29 (午前・午後)	於 杏林大学医学部付属病院会議室
		3.12 (午前・午後)	於 慶應義塾大学
(NCPR講習会)	令和5年	2.4	於 母子愛育会総合母子保健センター愛育病院
		3.18	於 杏林大学医学部付属病院
⑦ 社会保険	1回		
	令和4年	6.13	
⑧ 医業対策	1回		
	令和4年	10.4	Web開催
⑨ 医療事故対策	1回		
	令和5年	3月	Web開催
⑩ 病院	1回		
	令和5年	3.16	Web開催
⑪ 癌対策	2回		
	令和4年	7.7 10.6	Web開催
⑫ 献金	1回		
	令和4年	10.27	Web開催
⑬ 学校保健	3回		
	令和4年	5.31 9.27 12.23	Web開催
11. TAOGニュース	4回		
	4月	7・8月 10月 1月	
12. 東京産婦人科医会・東京産科婦人科学会合同懇談会			
	令和4年	7.26	Web開催
13. 提携諸団体との事業			
① 関東ブロック産婦人科医会協議会・社保協議会			
	令和4年	10.30	於 ホテルポートプラザちば
関東ブロック産婦人科医会・関東連合産科婦人科学会共催シンポジウム			
	令和4年	6.19～29	Web開催
② 東京思春期保健研究会			
総会	令和5年	2月	書面開催 ※研究会の開催は無し
③ 東京都各科医会協議会			
幹事会	3回		
	令和4年	4.18 10.3	於 東京都医師会館
	令和5年	2.6	於 東京都医師会館
総会	令和4年	7.4	於 東京都医師会館
忘年会	令和4年	12.5	於 雅叙園

## 令和4年度 会務報告

1. 会員数	1,265名
正会員	1,127名
賛助会員	1名
準会員	2名
減免会員	92名
免除会員	43名 2023.3.31現在

### 令和4年度入会正・準会員 (2022.4.1 ~ 2023.3.31)

(千代田区) 黒田 恵司	(品川区) 佐賀 絵美
(千代田区) 堤 亮	(品川区) 清水 文香
(千代田区) 許山 浩司	(品川区) 山田 舞夕
(中央区) 堀内 洋子	(大森) 伊賀 貴子
(中央区) 宮本 敏伸	(蒲田) 真田 広行
(中央区) 両角 和人	(北区) 小久保 靖子
(港区) 小松 保則	(豊島区) 浅野 真
(港区) 設楽 理恵子	(豊島区) 田中 智基
(港区) 瀬川 智也	(豊島区) 中里 泉
(文京区) 徐 恒杰	(豊島区) 原口 広史
(荒川区) 芦川 すが	(豊島区) 樋口 紗恵子
(荒川区) 池田 真理子	(豊島区) 深津 優子
(荒川区) 福田 奈尾子	(豊島区) 藤本 麻葉
(葛飾区) 秋葉 洋平	(豊島区) 榊谷 法生
(墨田区) 小泉 美奈子	(豊島区) 松本 玲央奈
(墨田区) 竹内 亜利砂	(豊島区) 山本 悦子
(江東区) 西野 翔吾	(板橋区) 古川 佳容子
(新宿区) 石山 俊輔	(練馬区) 小熊 響子
(新宿区) 折田 有史	(練馬区) 白根 晃
(新宿区) 片岡 尚代	(練馬区) 高木 健次郎
(新宿区) 佐藤 歩美	(練馬区) 森 恵里沙
(新宿区) 塩原 圭介	(練馬区) 吉田 美海
(新宿区) 壽圓 裕康	(調布市) 姫野 憲雄
(新宿区) 田中 弥生	(府中市) 曾我 江里
(新宿区) 中川 浩次	(府中市) 高原 めぐみ
(新宿区) 名倉 優子	(府中市) 松田 美奈子
(新宿区) 堀川 隆	(北多摩) 池田 哲哉
(新宿区) 山内 潤	(西東京市) 上原 彩子
(杉並区) 大野 智子	(南多摩) 大岩 一平
(杉並区) 大橋 昌尚	(町田市) 渡邊 知緒
(杉並区) 長内 喜代乃	(慶応大) 大谷 利光
(杉並区) 片岡 典子	(慈恵医大) 津田 明奈
(目黒区) 峯 克也	(順天大) 河村 和弘
(世田谷区) 坂口 健一郎	(昭和大) 関谷 文武
(世田谷区) 坂口 律子	(東京医大) 伊東 宏絵
(渋谷区) 太田 岳晴	(東京医大) 二神 真行
(渋谷区) 金 南孝	(東大) 鮫島 大輝
(渋谷区) 近藤 憲一	(日大) 池田 悠至

(品川区) 大家 ゆず子  
(品川区) 紺谷 佳代  
(品川区) 齊藤 十一

(日大) 山田 泰平  
(その他) 萩原 聖子

以上81名

#### 令和4年度減免会員

(中央区) 長田 尚夫  
(中央区) 楠原 浩二  
(港区) 赤枝 恒雄  
(荒川) 早田 孝敬  
(足立区) 真島 靖重  
(目黒区) 清水 嘉一  
(渋谷区) 林 和彦  
(杉並区) 杉山 武

(蒲田) 高野 利興  
(北区) 金高 正樹  
(板橋区) 渡邊 一征  
(練馬区) 久保田 繁  
(北多摩) 志田 多果夫  
(北多摩) 高橋 さと子  
(南多摩) 伊藤 正昭

以上15名

#### 2. 物故会員 (敬称略) (2022.4.1 ~ 2023.3.31)

(葛飾区) 小林 總介  
(江戸川区) 神山 一郎  
(目黒区) 清永 吉彦  
(渋谷区) 小林 重高

(練馬区) 関根 憲治  
(府中市) 中嶋 雄志  
(町田市) 義澤 一孝  
(北多摩) 内田 智

以上8名

## 《会計部》

担当理事 坂田 優

### 会計部

担当副会長 松本 和紀

担当理事 坂田 優

副担当理事 里見 操緒

### 事業計画

1. 予算書の作成・決算書の作成
2. 事業計画に則った適切な財産の運用と可能な限りの経費の節約
3. 法人会計基準（平成20年度会計基準）に準拠した会計処理を行う

上記事業を円滑に運営するため、下記の会を開催した

1. 令和3年度会計監査会（令和4年5月16日）ハイブリッド開催  
出席者（10名）：中林正雄監事、中井章人監事、山田正興会長、松本和紀副会長、対馬ルリ子副会長、莊隆一郎副会長、中林稔理事、里見操緒理事、坂田優理事、森下幸也税理士

2. 令和5年度予算編成会議（令和5年1月26日）ハイブリッド開催

出席者（7名）：山田正興会長、松本和紀副会長、対馬ルリ子副会長、莊隆一郎副会長、中林稔理事、里見操緒理事、坂田優理事

定款第51条に基づき、令和4年5月16日に会計監査会を開催し、監事2名により令和3年度決算報告を監査。令和4年6月1日の理事会に報告・承認を受け、6月18日の総会で承認を受けた。

貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）、及びその付属明細書を示した。

公益目的事業会計収支は8,450,575円の黒字、収益事業等会計収支は、4,072,431円の黒字、法人会計収支は9,155,908円の黒字で、正味財産期末残高70,350,604円であった。

定款第50条に基づき、令和5年度の予算書を作成した。

令和5年1月26日に予算編成会議を開催。経常収益計45,441,000円、経常費用計45,371,000円の予算を編成し、令和5年2月1日の理事会にて承認を受けた。

# 貸借対照表

令和5年 3月31日現在

一般社団法人 東京産婦人科医会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資 産 の 部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	79,729,769	72,620,030	7,109,739
未収会費	350,000	160,000	190,000
未収金	2,680,350	3,488,357	△ 808,007
仮払金	0	46,000	△ 46,000
流動資産合計	82,760,119	76,314,387	6,445,732
2. 固定資産			
什器備品	52,139	104,277	△ 52,138
電話加入権	30,000	30,000	0
その他固定資産合計	82,139	134,277	△ 52,138
固定資産合計	82,139	134,277	△ 52,138
資産合計	82,842,258	76,448,664	6,393,594
<b>II 負 債 の 部</b>			
1. 流動負債			
未払金	0	487,000	△ 487,000
未払費用	1,441,010	1,844,225	△ 403,215
前受金	926,000	520,000	406,000
前受会費	439,000	1,128,000	△ 689,000
預り金	996,723	1,604,735	△ 608,012
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	86,200	444,100	△ 357,900
流動負債合計	3,958,933	6,098,060	△ 2,139,127
負債合計	3,958,933	6,098,060	△ 2,139,127
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	78,883,325	70,350,604	8,532,721
正味財産合計	78,883,325	70,350,604	8,532,721
負債及び正味財産合計	82,842,258	76,448,664	6,393,594

正味財産増減計算書内訳表

一般社団法人 東京産婦人科医会

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計	法人会計	合計	前年度	増減
	一般事業	おぎゃー献金	公益小計	共益事業	管理費			
I 一般正味財産増減の部								
1.経常増減の部								
(1) 経常収益								
受取会費	0	0	0	4,612,000	19,178,000	23,790,000	23,360,000	430,000
受取入会金	0	0	0	0	770,000	770,000	660,000	110,000
受取会費	0	0	0	4,612,000	18,408,000	23,020,000	22,700,000	320,000
受取負担金	7,163,000	0	7,163,000	0	0	7,163,000	6,589,000	574,000
受取負担金(東京都予防医学協会)	7,163,000	0	7,163,000	0	0	7,163,000	6,589,000	574,000
事業収益	7,942,804		7,942,804	0	0	7,942,804	7,688,052	254,752
指定医師研修会事業	1,757,394	0	1,757,394	0	0	1,757,394	1,502,642	254,752
母体救命・NCPR研修会事業	6,185,410	0	6,185,410	0	0	6,185,410	6,185,410	0
受取補助金等	1,150,000	890,348	2,040,348	0	1,208,160	3,248,508	11,942,034	△ 8,693,526
東京都医師会補助金	1,100,000	0	1,100,000	0	0	1,100,000	2,100,000	△ 1,000,000
日本産婦人科医会助成金	50,000	0	50,000	0	1,208,160	1,258,160	8,932,900	△ 7,674,740
おぎゃー献金補助金	0	890,348	890,348	0	0	890,348	909,134	△ 18,786
雑収益	1,482,840	0	1,482,840	2,160,000	748,691	4,391,531	4,283,767	107,764
受取利息	0	0	0	0	943	943	767	176
広告収入	0	0	0	2,160,000	0	2,160,000	2,310,000	△ 150,000
その他収入	1,482,840	0	1,482,840	0	747,748	2,230,588	1,973,000	257,588
経常収益計	17,738,644	890,348	18,628,992	6,772,000	21,134,851	46,535,843	53,862,853	△ 7,327,010
(2) 経常費用								
事業費	20,364,120	493,004	20,857,124	4,582,497		25,439,621	21,378,180	4,061,441
法定福利費	0	0	0	0		0	7,896	△ 7,896
総務部委員会費	369,127	0	369,127	0		369,127	471,799	△ 102,672
会計部委員会費	74,591	0	74,591	0		74,591	54,815	19,776
学術部委員会費	3,176,545	0	3,176,545	0		3,176,545	2,567,920	608,625
広報部委員会費	0	0	0	3,443,997		3,443,997	2,777,569	666,428
母体保護部委員会費	1,820,236	0	1,820,236	0		1,820,236	2,087,005	△ 266,769
母子保健部委員会費	4,972,140	0	4,972,140	0		4,972,140	4,056,968	915,172
社会保険部委員会費	259,000	0	259,000	0		259,000	0	259,000
医薬対策部委員会費	79,447	0	79,447	0		79,447	268,360	△ 188,913
医療事故対策部委員会費	85,341	0	85,341	0		85,341	24,000	61,341
病院部委員会費	30,000	0	30,000	0		30,000	33,000	△ 3,000
癌対策部委員会費	158,235	0	158,235	0		158,235	21,000	137,235
献金部委員会費	0	493,004	493,004	0		493,004	567,378	△ 74,374
学校保健部委員会費	863,958	0	863,958	0		863,958	916,470	△ 52,512
委託費	8,475,500	0	8,475,500	1,138,500		9,614,000	7,524,000	2,090,000
管理費					12,493,501	12,493,501	10,805,759	1,687,742
総会・懇親会費					1,840,935	1,840,935	514,196	1,326,739
理事会会議費					1,103,081	1,103,081	1,205,860	△ 102,779
ブロック代表者会・会長会費					476,337	476,337	245,095	231,242
選挙管理関連費					42,118	42,118	94,721	△ 52,603
関東ブロック等関係諸団体会議費					186,000	186,000	137,000	49,000
旅費交通費					31,610	31,610	16,760	14,850
通信運搬費					419,428	419,428	451,676	△ 32,248
減価償却費					52,138	52,138	69,517	△ 17,379
消耗品費					1,562,862	1,562,862	1,482,311	80,551
印刷製本費					384,255	384,255	499,902	△ 115,647
賃借料(倉庫使用料)					26,884	26,884	35,937	△ 9,053
諸謝金					462,000	462,000	548,735	△ 86,735
支払手数料					140,128	140,128	111,188	28,940
渉外費					184,000	184,000	135,970	48,030
慶弔費					109,200	109,200	169,665	△ 60,465
諸会費					1,887,500	1,887,500	1,772,800	114,700
租税公課					519,100	519,100	876,585	△ 357,485

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計	法人会計	合計	前年度	増減
	一般事業	おぎゃー献金	公益小計	共益事業	管理費			
委託費					3,036,000	3,036,000	2,376,000	660,000
支払助成金					25,800	25,800	25,200	600
雑費					4,125	4,125	36,641	△ 32,516
<b>経常費用計</b>	<b>20,364,120</b>	<b>493,004</b>	<b>20,857,124</b>	<b>4,582,497</b>	<b>12,493,501</b>	<b>37,933,122</b>	<b>32,183,939</b>	<b>5,749,183</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,625,476	397,344	△ 2,228,132	2,189,503	8,641,350	8,602,721	21,678,914	△ 13,076,193
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 2,625,476</b>	<b>397,344</b>	<b>△ 2,228,132</b>	<b>2,189,503</b>	<b>8,641,350</b>	<b>8,602,721</b>	<b>21,678,914</b>	<b>△ 13,076,193</b>
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 2,625,476	397,344	△ 2,228,132	2,189,503	8,641,350	8,602,721	21,678,914	△ 13,076,193
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	70,000	0	70,000	70,000	0
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 2,625,476</b>	<b>397,344</b>	<b>△ 2,228,132</b>	<b>2,119,503</b>	<b>8,641,350</b>	<b>8,532,721</b>	<b>21,608,914</b>	<b>△ 13,076,193</b>
一般正味財産期首残高	△ 38,643,729	1,373,079	△ 37,270,650	9,801,587	97,819,667	70,350,604	48,741,690	21,608,914
一般正味財産期末残高	△ 41,269,205	1,770,423	△ 39,498,782	11,921,090	106,461,017	78,883,325	70,350,604	8,532,721
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 41,269,205	1,770,423	△ 39,498,782	11,921,090	106,461,017	78,883,325	70,350,604	8,532,721

## 附属明細書

- 1.基本財産及び特定資産の明細  
財務諸表に対する注記に記載のとおり。
- 2.引当金の明細  
該当なし。

## 《学術部》

担当理事 武知 公博

### 学術部

担当副会長	松本 和紀
担当理事	武知 公博
担当副理事	谷垣 伸治
学術研修委員	
委員長	塩津 英美
委員	吉田 正平
委員	尾崎さおり
委員	渡邊 昇一
委員	鈴木 國興
委員	冬城 高久
委員	佐藤奈加子
委員	藤川 浩
委員	平尾 薫丸
委員	関沢 明彦
委員	綾部 琢哉
委員	熊澤 恵一

令和4年度の学術部の定例事業として、第308回・第309回臨床研究会、第43回・第44回合同研修会を開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大のため、前年度の臨床研究会の開催は1回でしたが、本年度は従来通りの2回開催に戻すことができました。感染状況や他の講演会の開催様式に鑑み、第308回は現地開催のみ、第309回は現地開催＋オンデマンド配信としました。学会との合同研修会では、第43回は現地開催＋オンデマンド配信、第44回は現地でのみの開催でした。参加者数は、臨床研究会、合同研修会ともに、現地開催＋オンデマンド配信が現地開催のみを大きく上回っており、オンデマンド配信の需要の大きさが明らかとなりました。

生の臨場感が得られ、その場での質疑応答が可能な会場開催と、期間中いつでもどこでも何回でも視聴できるオンデマンド配信の利便性を両立させるためには、現地開催＋オンデマンド配信が最善であることは自明です。しかし予算上の問題も無視できず、次年度も現地開催＋オンデマンド配信の予定ではありますが、感染状況を考慮しつつ開催様式を改めて検討いたします。

臨床研究会、合同研修会においては、日本専門医

機構の単位取得が可能となっていますが、今後は「共通講習」の単位認定が難しくなる可能性があります。令和4年11月に日本産科婦人科学会中央専門医制度委員会より、日本専門医機構から従来「共通講習」として申請していたもののなかに「領域講習」とすべきものがあり今後の審査では留意するよう指摘を受けた、との報告がありました。共通講習として認定されるためには、「『各領域の枠を超えた、医師として必要な知識や態度（人間性や社会性を含む）を扱う講習』として妥当と認められたものに限られる」とされています。学術部としてもその内容に留意し、共通講習単位認定が可能となるよう適切に対応していく予定です。

第44回合同研修会より、会の名称が変更されました。

旧) 東京産婦人科医会・東京産科婦人科学会合同研修会

並びに東京産科婦人科学会例会

新) 東京産科婦人科学会例会

並びに東京産婦人科医会との合同研修会

学術部は会員の先生方のご期待に沿えるような講演会の開催に、より一層努力する所存です。先生方の忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸甚に存じます。

### 1. 令和4年度事業計画

#### 1) 臨床研究会の開催（年2回）

開催時に保険コーナー併催（社会保険委員会と共催）

#### 2) 日本産科婦人科学会・日本専門医機構専門医生涯教育

#### 3) 本会・東京産科婦人科学会合同研修会の開催（年2回各ブロックが順次担当）

### 2. 令和4年度学術部・学術研修委員会合同会議

日時：令和5年3月17日（金）Zoomによる通信会議

### 3. 臨床研究会・学会との合同研修会

#### 1) 第43回東京産婦人科医会・東京産科婦人科学会合同研修会並びに

第401回東京産科婦人科学会例会

医会担当：城北ブロック 須賀田 元彦

学会担当：日本医科大学 鈴木 俊治

日 時：令和4年5月21日（土）12：55～18：00

会場：JA 共済ビル カンファレンスホール  
オンデマンド配信：令和4年5月27日（金）  
～6月2日（木）

参加者数：575名（現地参加：95名）

一般演題 22題

【特別講演】月経随伴症に伴う社会経済的損失の改善に向けて

東京大学 産婦人科 准教授 平池 修  
（座長 東京北医療センター センター長 塩津 英美）  
単 位：日本専門医機構産婦人科領域講習

2) 第308回東京産婦人科医会臨床研究会（本部担当）  
日 時：令和4年10月22日（土）14：30～17：30  
会 場：新宿ファーストウエスト  
参加者数：61名

【演題】

1. 出生前診断の倫理的課題と新たな検査提供体制  
昭和大学 産婦人科 教授 関沢 明彦  
（座長 東京産婦人科医会 学術部担当理事 武知 公博）  
単 位：日本専門医機構共通講習（医療倫理）

2. いざという時必要な性暴力被害者の診方  
～性暴力支援センター・大阪SACHICOでの  
経験を踏まえて～  
性暴力支援センター・大阪SACHICO 理事  
加藤 治子

（座長 東京産婦人科医会 医業対策部担当理事  
中島 由美子）  
単 位：日本専門医機構共通講習（医療福祉制度）

3. 診療所の事業継承（税制を中心として）  
～医療法人の場合・個人事業の場合～  
税理士法人 青木会計 代表社員 青木 恵一  
（座長 東京産婦人科医会 副会長 松本 和紀）  
単 位：日本専門医機構共通講習（医療経済）

3) 第403回東京産科婦人科学会例会並びに  
第44回東京産婦人科医会との合同研修会  
医会担当：中央ブロック 小田 英之  
学会担当：江東ブロック 岡本 哲  
日 時：令和4年12月10日（土）12：55～17：45  
会 場：JA 共済ビル カンファレンスホール  
参加者数：183名

一般演題 48題

【特別講演】Shortening time to pregnancy を目指した機能性不妊症に対する不妊治療のステップアップ

慶應義塾大学 産婦人科 講師 山田 満稔

（座長 永寿総合病院 産婦人科部長 小田 英之）  
単 位：日本専門医機構産婦人科領域講習  
4) 第309回東京産婦人科医会臨床研究会（城南  
ブロック担当）

日 時：令和5年3月19日（日）17：00～17：30  
会 場：アルカディア市ヶ谷  
オンデマンド配信：令和5年3月24日（金）  
～3月30日（木）

参加者数：122名（現地参加：27名）

【演題】

1. 若年性乳がんの諸問題とその早期発見に向けて  
聖マリアンナ医大 乳腺・内分泌外科 教授  
津川 浩一郎  
（座長 東京産婦人科医会 がん対策部担当理事  
木口 一成）

共 催：ホロジック・ジャパン株式会社  
単 位：日本専門医機構産婦人科領域講習  
2. 包括的がんゲノムプロファイリングを用いた  
婦人科がんの個別化治療

東邦大学 産婦人科 准教授 小宮山 慎一  
（座長 大鳥居医院 理事長 高野 利興）  
共 催：中外製薬株式会社

単 位：日本専門医機構産婦人科領域講習  
3. 保険コーナー 医療経済の現状  
～診療報酬制度 総論から各論～  
東京産婦人科医会 社会保険部担当理事  
前村 俊満

単 位：日本専門医機構共通講習（医療経済）

4. 本会の共催・後援事業

1) 東京産婦人科臨床フォーラム  
日 時：令和4年9月4日（日）～9月24日（土）  
Web開催（オンデマンド配信）

共 催：GEヘルスケア・ジャパン株式会社  
第16回（生殖領域）9月4日（日）～9月10日（土）  
生殖補助医療における超音波機器の有用性  
広島HARTクリニック 院長・理事長 向田 哲規  
単 位：日本専門医機構産婦人科領域講習  
第17回（婦人科領域）9月11日（日）～9月17日（土）  
超音波3Dやパワードップラーで可視化される  
産婦人科疾患

鹿児島大学病院 女性医療センター 沖 利通  
単 位：日本専門医機構産婦人科領域講習  
第18回（産科領域）9月18日（日）～9月24日（土）

超音波による安全な無痛分娩

国際医療福祉大学 臨床医学研究センター准教授

中山 敏男

単 位：日本専門医機構産婦人科領域講習

2) 女性医療フォーラム

日 時：令和4年10月29日（土）17：50～20：30

ハイブリッド開催

共 催：バイエル薬品株式会社

会 場：京王プラザホテル

講演

1. 基礎から最新治療まで知っておきたい女性の  
頭痛～産婦人科で頭痛の相談を受けた時の  
ポイント～

愛仁会千船病院 産婦人科 主任部長

稲垣 美恵子

単 位：日本専門医機構産婦人科領域講習

2. New normalにむけて～思春期・性成熟期  
女性の月経随伴症状を考える～

近畿大学東洋医学研究所 所長・教授 武田 卓

単 位：日本専門医機構産婦人科領域講習

5. 令和5年度臨床研究会ならびに合同研修会の予定

臨床研究会、合同研修会ともに2回の開催を予定  
しています。新型コロナウイルスの感染状況により  
開催形式が変更される可能性がありますのでご承知  
おき下さい。

1) 臨床研究会

第310回臨床研究会

10月 会場開催・オンデマンド配信予定

1 演題を医業対策部と共催

第311回臨床研究会

3月 会場開催・オンデマンド配信予定

1 演題をがん対策部と共催

2) 合同研修会

第45回合同研修会 5月27日（土）

医会担当 城東・南ブロック

学会担当 東京医科歯科大学

第44回合同研修会 12月9日（土）

医会担当 多摩ブロック

学会担当 多摩ブロック

## 《広報部》

担当理事 里見 操緒

### 広報部

担当副会長	対馬ルリ子
担当理事	里見 操緒
副担当理事	中野 義宏 長岡 美樹
委員	中山 摂子
委員	石田 友彦
委員	天神 尚子
委員	櫻井 信行
委員	三輪 綾子
委員	小熊 響子

### 【令和4年度事業計画】

1. 「TAOG ニュース」を原則として年4回発行
2. 東京産婦人科医会会誌を年1回発行
3. 本会広報活動へのインターネット活用と充実化
  - 1) 本会ホームページリニューアル（スマホ対応・サイト整理・SNS対応）
  - 2) 各地区との情報伝達手段方法の検討（非FAX含むデジタル化）

### 【令和4年度事業報告】

令和4年もまだ、新型コロナウイルス感染症の猛威は変異株の発生により感染流行は夏もひどかった。ワクチンの普及により、重症化は減ったと思っていたが、ウイルスはその先を歩いている。

令和2年4月の緊急事態宣言からもう3年。おそらくワクチンの開発のおかげで、人類はウイルスによる支配を制御しつつある、と言っても良いところまで来た。この一年も4月の第1回委員会以降、通信会議で行った。全てリモート会議であり、事務局の情報管理に助けられた。

例年通りTAOGニュースの発刊、会誌の発行を中心に委員会を進めた。TAOGニュースは4回発刊した。7・8月号は会誌55号と同梱で発送できた。

令和4年度会誌（第55号）は、特集1を【新しい診療（Wellness care）】と題しテーマを2つ取り上げた。一つは検査の普及が進んでいるNIPTについて新たな認証制度の解説と現場の声を各論として取

り上げた。もう一つは4月より一部保険診療となった不妊治療を取り上げた。また、特集2には、行政も取り組んでいる【メンタルヘルスケア（切れ目ない支援）】について、思春期から、妊娠期、産褥期、更年期のそれぞれのステージにおける女性の健康管理について、その分野でご活躍の先生方よりご寄稿いただいた。会員皆様に、いま必要なテーマ、情報提供を意識した内容でお届けできたのではないかと考えている。

ようやく、医会ホームページ（HP）のリニューアルについて進展がみられた。セキュリティを安全なものを用意、より素早く情報を提供する役割が果たせるようなHPの運用を目指し、既存の情報保存を進めつつ、会員が必要な情報の見やすさ、一般の方が知りたい情報も扱えるようなページ構成を考慮した。

まだ改良途中であり、会員の皆さまにご活用いただけますよう、引き続き組んでまいり所存である。

### 【令和4（2022）年度 広報部委員会 開催日程】

#### 第1回 広報部委員会

日時：令和4年4月15日（金） 18：30～20：00  
会場：Zoomによる通信会議  
出席者：山田会長、松本副会長、対馬副会長  
里見・中野・長岡理事  
中山・天神・石田・櫻井・並松（小熊）委員

#### 第2回 広報部委員会

日時：令和4年5月20日（金） 18：30～19：45  
会場：Zoomによる通信会議  
出席者：山田会長、松本副会長、  
里見・中野・長岡理事  
中山・天神・櫻井・石田・小熊委員

#### 第3回 広報部委員会

日時：令和4年7月8日（金） 18：30～19：30  
会場：Zoomによる通信会議  
出席者：山田会長、松本・対馬副会長  
里見・中野・長岡理事  
天神・石田・小熊委員  
同席者：芝サン陽印刷(株) 尼崎 勝之氏  
花鳥 涼 氏

第4回 広報部委員会

日 時：令和4年9月9日（金） 18：30～20：00

会 場：Zoomによる通信会議

出席者：山田会長、松本副会長、  
里見・中野・長岡理事  
中山・天神・石田委員

第5回 広報部委員会

日 時：令和5年1月6日（金） 18：30～20：00

会 場：Zoomによる通信会議

出席者：山田会長、松本・対馬副会長  
里見・長岡理事  
天神・櫻井・石田・小熊委員

## 《母体保護部》

担当理事 中野 義宏

### 母体保護部

担当副会長 莊 隆一郎  
担当理事 中野 義宏  
副担当理事 中林 稔  
副担当理事 川嶋 一成  
担当委員 吉田 正平  
担当委員 窪 麻由美  
担当委員 青木 弘明  
担当委員 三輪 綾子

### 令和4年度事業

1. 母体保護法の適正なる運用と啓発
2. 人工妊娠中絶報告に基づく統計及び分析
3. プレグランディン腔坐剤使用状況の把握
4. 不妊手術の届出の励行
5. 母体保護法指定医師研修会2回開催
6. 母体保護法指定医師必携の周知徹底

令和3年度より担当理事が莊現副会長より中野となり2年目となりました。ご指導頂きながら既存事業を継承しコロナ禍による環境変化のなか上記事業を執行いたしました。

平成23年に改定された母体保護法では、医師会という民間団体が法律に基づく資格（指定医）を審査付与することの重みと疑義が投げかけられながら、一般社団法人となった医師会であっても引き続き指定権が維持されることとなりました。

これは各都道府県医師会にとって大変重要なことであり、平成24年に日本医師会内に「母体保護法に関する検討委員会」が設置され、専門医資格との関係性、審査の厳格化、自己研鑽の一環としての研修への参加などにつき議論がなされ、

- 1) 非会員を排除するような基準であってはならないこと
- 2) 指定医に十分な研修を義務化すること

で医師会の指定権を保持し、さらにプロフェッショナルオートノミーをより厳格に発揮して適切な運用をはかるなどを論点とし協議された結果、指定権が保持されることになりました。

平成27年4月に母体保護法指定医師の新規指定及び更新時に指定医師研修会の受講証を提出すること

となり、日本医師会は指定医師研修機関と指定医師研修連携施設の申請・登録を明確にし、連携施設で指導医師が直接指導することによる人工妊娠中絶手術を行うことを認め、母体保護法指定医師を目指す医師が必要とする20例以上の人工妊娠中絶手術又は流産手術の研修症例増加を図れるようにしました。

適正な人工妊娠中絶を行うことのできる施設および手技を取得した母体保護法指定医師数の確保と増加が、その実務を担当している本会として必要不可欠であり、今後も指定医師の取得に向けて委員会を中心に協議を進め、指定権者である東京都医師会と連携し、当会の会員である先人の指定医師が培ってきた名誉が損なわれないように努力することが重要な責務であります。また次年度導入予定の経口中絶薬に関しても母体保護法が深くかわり、安全かつ厳正な運用方法を保持しなければなりません。

母体保護の適応に関しては配偶者同意が原則ですが本来の趣旨である「母体の生命健康を保護する」事を優先し、法令順守に基づいて状況に応じて柔軟な適応がなされるようになってまいりました。

今後も多く産婦人科医本資格を取得してもらい、法令順守に基づいて患者様にとって安心安全な手技による手術を行ってもらう事を願っております。

### 令和4年度母体保護法指定医師研修会報告

令和4年度は通常の指定医師研修会を2回、救済措置で臨時開催を1回行いました。感染状況を鑑み、5月22日の第1回研修会開催予定を通常開催、第2回開催をハイブリッド開催といたしました。第3回に関しては未受講かつ継続希望会員が多数となり、東京都医師会と協議した結果、追加開催となりました。あくまで臨時措置で毎回救済可能であるとは限りませんのでご注意ください。

### 令和4年母体保護法指定医師研修会講師

日時	生命倫理	母体保護法	医療安全
令和4年5月22日(日) (東京都医師会館・通常)	石谷 健 (日本産婦人科 医会)	落合 和彦 (東京都医師会)	相良 洋子 (日本産婦人科 医会)
令和4年9月4日(日) (VC永田町・ハイブリッド)	三上 幹男 (東海大学産婦 人科)	高瀬 幸子 (日本産婦人科 医会)	菅谷 明則 (すがやこども クリニック)
令和4年11月27日(日) (東京都医師会館・臨時ビデオ)	三上 幹男 (東海大学産婦 人科)	高瀬 幸子 (日本産婦人科 医会)	菅谷 明則 (すがやこども クリニック)

コロナ禍における時代の趨勢に合わせハイブ

リッド開催を引き続き行いました。コロナ禍が過ぎてもDx（デジタルトランスフォーメーション）が進むなか、引き続き利便性や合理性を考慮してオンラインでの開催は検討したいところですが、この点に関しては指定権者である東京都医師会と引き続き協議してまいります。

母体保護法指定医師研修医師数と研修会報告としましては、令和4年度母体保護法指定医師更新者 720名（返納者37名）

第1回研修会（R4. 5. 22）

参加者 158名（オンラインなし）

第2回研修会（R4. 9. 4）

現地参加者 285名 オンライン参加者 257名

第3回研修会（臨時R4. 11. 27）

参加者 9名（オンラインなし）

次年度は第1回を7月2日（日）、第2回を11月19日（日）に開催予定しております。

近年人工妊娠中絶数は統計上やや減少しておりますが指定医師数に関しましては、当指定医師の高齢化及び更新審査の変更（母体保護法指定医師研修会の参加義務等）による減少から、「母体保護法指定医師の指定基準」「指定医師研修連携施設における指導医による直接指導下での人工妊娠中絶の研修が可能」の運用がなされることにより増加傾向にあり

ます。母体保護法指定医師は技能による法律上の指定医師資格ですので、東京産婦人科医会としましてはこれまで以上に有資格者、特に多くの若手医師も指定医師を取得して下さるよう努めてまいります。

胞衣の取り扱いの周知徹底も昨年末見直され、新規取得時に配布する資料も改定いたしました。HPやTAOG誌にも告知しておりますので再度ご確認ください。母体保護法の適切な運用に関しましては、いま一度「指定医師必携」をご覧くださいようお願い致します。

令和5年度導入予定の参加シールデジタル化に関しては日本産婦人科医会が主体となり準備をおこなっております。また東京産婦人科医会におきましてもHPのリニューアルに続き、毎月提出いただく妊娠中絶実施報告書のデジタル化を会員管理システムと合わせて総務部を主体に今年度スタートを予定しております。いずれも運営コスト削減や利便化を目的に行っているデジタル化推進ではありますが、Dxの時代において広告マーケティングや予防医療、診療管理等の生産部門においてもデジタル化の波が避けられません。引き続き会員の先生方が産婦人科医療でご活躍いただける様注視、サポートして参ります。

母体保護法指定医師研修会業務を中心に引き続き日本産婦人科医会、東京都医師会と連携を取り、情勢に沿った運営を心掛けてまいりますので何卒宜しくお願い申し上げます。

## 《母子保健部》

担当理事 谷垣 伸治

### 母子保健部

担当副会長	対馬 ルリ子
担当理事	谷垣 伸治
副担当理事	武知 公博
母子保健委員会	
委員	関沢 明彦
委員	宮内 彰人
委員	本多 泉
委員	松島 実穂
委員	水口 雄貴
委員	山岸 絵美

### 令和4年度事業計画

1. 東京都周産期救急医療体制の検討と整備
2. NCPR 講習会の普及活動
3. 母体救命講習会の実施
4. 新生児聴覚スクリーニング検査の実績と評価の検討
5. HTLV-1キャリア妊婦と出生児のフォローアップ体制の構築

#### 1. 東京都周産期救急医療体制の検討と整備

本部会では東京都周産期医療協議会に参加し、周産期医療供給システム構築・運営に協力しています。

##### ①母体救命搬送システムの状況

母体救命対応総合周産期センターは、昨年同様、昭和大学、日本赤十字社医療センター、日本大学医学部附属板橋病院、墨東病院、多摩総合・小児総合医療センター、杏林大学医学部附属病院の6カ所が指定されました。

令和3年度の実績は、搬送例は254例（転院搬送142例 令和2年度より5例減、一般通報112例 同32例増）でした。令和2年度は令和元年度より32例減少しましたが、令和3年度は例年通りの件数の実績となりました。搬送理由は、これまでと同様、出血性ショック、産科DIC、激しい腹痛、意識障害が大部分を占めています。重篤・重症症例の割合は44.9%となり、過去最も低値となりました。一方、覚知から病着（救急隊連絡から収容先病院到着）までの平均時間が45.8分（令和2年度に比し+3.9分）、病院選定時間が12.4分（同+1.7分）、選定回数が2.7

回（同+0.2回）と延長し、母体死亡例が3例（同0例）あったことが気になります。COVID-19感染症が影響している可能性があると思われ、令和4年度の実績が注目されます。

##### ②胎児救急搬送システム

東京都周産期搬送システムに平成25年3月より、「常位胎盤早期剥離」、「早産期の胎児機能不全」に特化した胎児救急搬送システムが加わり、運用が開始されています。令和3年度は、13例ありました。そのうち正産期の胎児機能不全例が3例ありました。本システムの対象は、常位胎盤早期剥離ならびに早産期の胎児機能不全です。本システムの浸透及び有効性の評価を継続する必要性を強く感じます。

##### ③災害時における周産期医療体制の構築

小児・周産期医療に係る保健医療活動の総合調整に必要な知識及び技能である「災害時小児周産期リエゾン」についての講習会を開催しました。災害時小児周産期リエゾンは、自都道府県及び近隣県の被災時に、保健医療調整本部等において小児・周産期医療に関する情報を集約し、適切な助言及び支援を行います。本年度はブロックごとに、産科医、小児科医各1名をリエゾンに指名し、リエゾン代理を同各1名任命しました。

#### 2. NCPR（新生児蘇生法）の普及活動

昨年度に引き続き、東京都新生児蘇生法研修事業と共催し、日本周産期・新生児医学会公認NCPR（新生児蘇生法）の研修会を実施しました。23区内は母子愛育会総合母子保健センター愛育病院ならびに同センター愛育クリニック（令和5年2月4日 44名参加）、多摩地域は杏林大学医学部付属病院（令和5年3月18日 45名参加）において開催しました。COVID-19感染症が終息をむかえつつあるためか、欠席者は7名のみでした。本事業は来年以降も継続の予定です。

#### 3. 母体救命講習会

本会と東京都産科救急研修事業共催の日本母体救命システム普及協議会の母体救命公認講習会（JCIMELS）は、JCIMELS本部コース（令和4年12月24日18名、同月25日18名参加）、杏林大学医学部付属病院（令和5年1月29日午前18名、午後18名参加）、慶應義塾大学（令和5年3月12日午前17名、午後18名参加）、で計6回開催されました。本事業

も来年以降も継続の予定です。

#### 4. 新生児聴覚スクリーニング検査の実績と評価の検討

本事業の一環として、令和4年12月4日、国立成育医療研究センター主催、本会共催でNHS (Newborn Hearing Screening Symposium 新生児聴覚スクリーニングシンポジウム) が開催されました。150名以上参加頂き、NHKの取材もありました。ハイリスク児を含め偽陽性率の低いABRが推奨されておりますが、分娩取り扱い施設へのアンケート調査ではABRの設置が67%に留まり、OAEのみが13%である状況が課題です。令和5年度の都の予算としてABR未設置の都内産婦人科・耳鼻咽喉科施設の新たなABR購入時に、3,600千円が購入補助されます。聴覚の獲得には臨界期があり、生後5年の治療の遅れは、一生取り戻せません。OAEで内耳より中枢側の聴覚障害が見落とされ、発達障害とされた児の訴訟例もあります。都は“赤ちゃんのおみみ”というリーフレットを配布、啓発しています。我々も、児の聴覚と言語の発達の機会と人生を奪うことのないよう努めていく必要があります。

#### 5. HTLV-1キャリア妊婦と出生児のフォローアップ体制の構築

公費補助下でHTLV-1抗体検査が実施されていますが、フォロー体制及びスクリーニングの効果の検証が不十分です。また、HTLV-1キャリア女性の児や自身についての不安に対し、相談場所がわからないことが課題となっています。このたびHTLV-1キャリアの実態把握やケアの強化モデルとして、HTLV-1東京プログラムが東京小児科医会との協働のもとに構築され、令和5年度より稼働することになりました。東京産婦人科医会ホームページに、医療従事者用、患者様用それぞれの説明ページが開設されますので、ご活用頂くとともにご意見賜りたく存じます。

母子保健部ではこれらの活動を通じ、東京都の周産期医療の質の向上と安定供給に努めて行く所存です。引き続き先生方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 《社会保険部》

担当理事 前村 俊満

### 社会保険部

担当副会長 松本 和紀  
担当理事 前村 俊満  
副担当理事 堀 量博  
社会保険委員会  
委員長 藤間 芳郎  
委員 下司 有美  
委員 篠原 洋介  
委員 石田 友彦

### 令和4年度社会保険委員会報告

昨年度行われた、医療保険改訂で不妊治療が保険適応となり、多くの疑義解釈があった。自費診療が中心の不妊治療の開業医にとっては大変な1年であったと思われます。会員の質問や意見にわかりやすく回答し、会員にとって不利益および齟齬とならないように連絡および指導していきたい。

昨年5月に、支払基金・国保連合会意見交換会など開催し、不妊治療の情報共有し、今後の審査を行うにあたる基礎部分を提示した。令和5年6月に開催予定とした（期日未定）。

関東ブロック社保協議会は、各都県の委員の先生方での関東地区を中心とした質疑を、千葉県担当で行った。来年度は、埼玉県主催で開催予定となった。

### 令和4年度社保国保問合せ

1. 質問：先進医療のERAなどの自費検査の周期にホルモン剤など投薬する場合があります。その場合のホルモン剤は保険使用で良いのでしょうか？先進医療なのでその検査自体は自費ですが、それ以外は保険で可能と考えておりますがいかがでしょうか？

回答：先進医療は申請している施設のみです。ERAは自費になります。ホルモン剤はすべて保険請求可能です。先進医療が認可されていないとすべて自費です。

2. 質問：卵アレルギー、喘息がある方に静脈麻酔薬が使いにくい状況があります。その場合セルシンに笑気酸素のガス麻酔を行った場合は全身麻酔の算

定は可能と考えてよろしいでしょうか？

回答：全身麻酔可能です、ただしセルシンのみだと疑義が生じる場合があります。

3. 質問：「ホルモン補充周期で妊娠した時にホルモン剤は保険で投与して良い」と聞きましたが、正常妊娠の時エコーは自費で行いホルモン剤は保険では混合診療となる可能性があるのではないかと思いますがいかがでしょうか？

3月31日疑義解釈問72番の②では可能なようになっていますが、正常妊娠であれば治療の中断として自費でホルモン剤の投与を行うことには問題はないのでしょうか？

回答：診察料の二重算定（自費と保険両者の算定）を行わなければ可。ホルモン補充は、保険で可能、補充していて正常なのでしょうか？妊娠の場合はエコー自費、薬保険は可能です。

4. 質問：当院にて鉗子分娩にて分娩された患者様で、出血が多く双手圧迫を行った患者様なのですが、止血の際に麻酔として陰部神経ブロックを行いました。しかし陰部神経ブロックで麻酔を算定するといつも返戻になるようで、陰部神経ブロックは分娩時保険算定出来ないのでしょうか？

回答：陰部神経ブロックは、神経ブロック料に含まれます。疼痛の管理のため産後の縫合では査定となります。慢性疼痛ではないため。

L100、神経ブロックの注に、上記以外の神経ブロック（局所麻酔剤またはボツリヌス毒素使用）は、L102に掲げる神経管内注射（25点）で算定する。となっていますので、この点数に麻酔薬材料で算定することは可能です。

5. 質問：R4.4鉄欠乏性貧血の疑いで抹消血液一般、Fe、TIBC、フェリチンの検査を行ったところ、フェリチンが査定（2件）を外されました。上記の病名で、フェリチン検査はできないのでしょうか？

回答：フェリチンは、基本的には「悪性貧血」など重症な貧血に対する検査の位置づけで査定となったのは、傾向的か、疑い病名のためと思われます。貧血の疑いでは、査定されることもあるようです。また、確定病名でも、月に2度請求すると査定対象になります。

**【東京保険医協会】からの質問**

不妊治療のタイミング療法の超音波検査の回数についてご教示いただければと思います。排卵誘発剤を使用していない患者さんの場合、超音波検査は1クール何回まで可能でしょうか。月経不順の患者さん等必要性があれば、レセプトに症状詳記を記載することにより2回ないし3回までは算定可能でしょうか。

回答：超音波検査の回数（目安）

卵巣機能不全：初診時に1回

タイミング法やAIH：1周期1回を原則とする

排卵誘発剤使用時（排卵障害、調節卵巣刺激など）

HCGのみ：1周期2回

経口薬：1周期3回

注射薬：1周期3回

OHSS発症の場合：更に2回程度

凍結胚移植

1周期2回

## 《医業対策部》

担当理事 中島由美子・中林 豊

### 医業対策部

担当副会長	松本 和紀
担当理事	中島由美子 中林 豊
副担当理事	坂田 優
委員会委員長	小川 隆吉
副委員長	飯野 孝一
委員	加藤 寛彦
委員	林 茂興
委員	永石 匡司
委員	市毛 敬子
委員	角 ゆかり

### I. 令和4年度医業対策部事業計画

1. 妊娠期から産後まで支援を必要とする養育者への切れ目のない支援体制の構築
  - 1) 産婦健診を含めた周産期・産後ケア事業の見直しと区市町村共通モデルの作成
  - 2) 妊婦健診同様に産婦健診を、都内区市町村をまたいで受けられるように都に働きかける
  - 3) 産婦健診における精神科や行政との連携システムの構築
2. 東京都人権部との連携協力による性犯罪等被害者支援
  - 1) 東京都性犯罪被害者等支援およびSARC東京の周知と連携構築
  - 2) 東京都人権部と合同主催で、性犯罪・性暴力被害者支援研修会の開催
  - 3) 研修単位を付加した東京産婦人科医会臨床研究会を開催できるかどうか検討する
3. 児童虐待対応研修への協力
4. 不妊治療の保険適用にともなう就労支援の重要性の周知協力
5. キャッシュレス決済について日医の取り組みを紹介しつつ情報収集と手数料問題の解決に向けた連携
6. SNSによる中傷被害について情報収集と対策の検討

### II. 令和4年度事業報告

前掲の事業計画に基づき、報告する。

1. 妊娠期から産後まで支援を必要とする養育者への切れ目のない支援体制の構築
  - 1) 産婦健診を含めた周産期・産後ケア事業の見直しと区市町村共通モデルの作成  
産婦健診については、既に各医療機関で独自の方法で行われているが、統一されたものはない。メンタルヘルス等の問診票については、EPDS、育児支援チェックリスト、赤ちゃんへの気持ち質問表などが使用されているが、すべてを必須とするかEPDSのみ必須とするか、公費助成を行う上で課題となる。公費助成については、各地区医師会を通じて、各区市町村に働きかけを行っている。
  - 2) 妊婦健診同様に産婦健診を、都内区市町村をまたいで受けられるように都に働きかける  
東京都医師会と連絡をとり、現在、各区市町村の動向を注視している。
  - 3) 産婦健診における精神科や行政との連携システムの構築  
行政との連携は、各地区で行われているが、精神科病院あるいは診療所との連携が課題となっている。広域での連携が必要であると認識している。
2. 東京都人権部との連携協力による性犯罪等被害者支援
  - 1) 東京都性犯罪被害者等支援およびSARC東京の周知と連携構築  
⇒・令和4年10月3日「【警察庁】令和4年度「犯罪被害者週間」について」HP及び支部会長MLにて周知  
・令和4年10月17日「令和4年度配偶者暴力(DV)防止講演会のご案内」HP及び支部会長MLにて周知  
・令和5年1月30日「令和4年度 内閣府「性犯罪被害者等支援体制整備促進事業」医療関係者等研修の開催」HP及び支部会長MLにて周知
  - 2) 東京都人権部と合同主催で、性犯罪・性暴力被害者支援研修会の開催  
⇒・令和4年度性犯罪・性暴力被害者支援のための医療従事者向け研修が、オンデマンド(YouTube)による配信(限定公開)で行わ

れた。配信期間は令和5年2月7日（火）9時から同年3月8日（水）17時まで

内容1. 都の性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援事業の概要等について

東京都総務局人権部

被害者支援連携担当課長 乗木 亜子

2. 東京都性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センターの取組について

特定非営利活動法人 性暴力救援センター・東京 理事長 平川 和子

3. 産婦人科における性犯罪等被害者支援について

立川相互病院 副院長

佐藤 典子（産婦人科医師）

4. 精神科における性犯罪等被害者支援について

目白大学 心理学部 准教授

齋藤 梓（公認心理師）

3) 研修単位を付加した東京産婦人科医会臨床研究会を開催できるかどうか検討する

⇒・10月22日第308回東京産婦人科医会臨床研究会にて、以下の講演を開催した。

演題2「いざという時必要な性暴力被害者の診方～性暴力救援センター・大阪 SACHICOでの経験を踏まえて～」

演者：性暴力救援センター・大阪 SACHICO 理事 加藤 治子

※単位：日本専門医機構共通講習（医療福祉制度）1単位（演者都合により、講演はzoomによるオンライン講演となった）

3. 児童虐待対応研修への協力

⇒1) 令和4年6月16日「令和4年度児童虐待対応研修【基礎講座第1回】（オンライン開催）児童虐待の現状と医療機関に求められていること～コロナ禍を踏まえて～」開催についてHP及び支部会長MLにて周知。

2) 令和4年7月4日「令和4年度児童虐待対応研修【基礎講座第2回】開催のご案内について」HP及び支部会長MLにて周知

3) 令和4年9月7日「令和4年度児童虐待対応研修【専門講座第2回】オンライン開催のご案内

について」HP及び支部会長MLにて周知

4) 令和4年10月4日「令和4年度児童虐待対応研修【専門講座第3回】オンライン開催のご案内について「司法からみた児童虐待」HP及び支部会長MLにて周知

5) 令和4年11月9日「令和4年度児童虐待対応研修【専門講座第4回】オンライン開催のご案内「ステップファミリーの理解と必要な支援について考える」HP及び支部長MLにて周知

6) 令和4年12月26日「児童虐待対応研修【専門講座第5回】開催（オンライン開催）のご案内」HP及び支部会長MLにて周知

4. 不妊治療の保険適用にとまなう就労支援の重要性の周知協力

⇒・令和4年4月15日「不妊治療の保険適用について」HPにて周知

・令和4年6月30日「東京都特定不妊治療費助成事業指定医療機関への実態調査につきまして」HPにて周知

5. キャッシュレス決済について日医の取り組みを紹介しつつ情報収集と手数料問題の解決に向けた連携

⇒・昨年の「日本医師会ORCA管理機構」の紹介にとどまっている。

6. SNSによる中傷被害について情報収集と対策の検討

⇒・第三回SNS対策アンケートを実施

東京産婦人科医会に登録のメールアドレス807件に対し、グーグルフォームにて

令和4年11月17日（木）～11月30日（水）アンケートを実施した。

7. オンライン資格確認進捗状況アンケート

活動計画にはなかったが、令和4年8月10日の中央社会保険医療協議会において、令和5年4月よりオンライン資格確認の導入の原則義務化の決定を受け、会員に向けてアンケートを実施した。

東京産婦人科医会に登録のメールアドレス807件に対し、グーグルフォームにて令和4年11月17日（木）～11月30日（水）アンケートを実施した。

### Ⅲ. 医業対策委員会開催

令和4年度も引き続き、zoomによるWEB会議となった。

また、他の、確認・承認事項等は、会議を開催せずに、MLにて委員の承認を得た。

⇒・令和4年度第1回医業対策委員会

日 時：令和4年10月4日（火）18時30分より

開催形式：Zoomによる通信会議

#### 【次第】

1 開会

2 会長挨拶、副会長挨拶

3 議題（以下、小川委員長により議事進行）

1) 第308回東京産婦人科医会臨床研究会の講演について（報告事項）

演題2 「いざという時必要な性暴力被害者の  
診方～性暴力救援センター・大阪  
SACHICOでの経験を踏まえて～」

演者：性暴力救援センター・大阪SACHICO  
理事 加藤 治子

座長：東京産婦人科医会医業対策部

担当理事 中島 由美子

※単位：日本専門医機構共通講習（医療福祉制度）1単位

2) 産婦健診の公費助成について（経過報告）

3) 児童虐待対応研修について

4) 第3回SNS対策アンケート（案）について

5) 妊婦健診公費助成費用の比較

6) 東京ユースヘルスケア事業について

7) その他

### Ⅳ. 結語

長かった新型コロナとの戦いもいよいよ転換を迎えようとしている中、オンライン資格確認や、オンライン診療、キャッシュレス等、医療を取り巻く環境はめまぐるしく変貌している。一方、従来の少子化傾向は、長引いた新型コロナ禍の影響で益々深刻になり、不妊治療の保険適用や、分娩費用の見える化なども産婦人科診療に直結してきている。今後も会員の皆様のご協力を仰ぎながら、役立つ情報をお届けできるよう尽力したい。

## 《医療事故対策部》

担当理事 岩田みさ子

### 医療事故対策部

担当副会長 対馬ルリ子

担当理事 岩田みさ子

担当副理事 水主川 純

### 医療事故対策委員

委員 小田 英之

委員 岩倉 弘毅

委員 原 澄子

委員 栃木 明人

委員 間崎 和夫

委員 菅原 恒一

委員 大川 豊

委員 砂倉 麻央

## 1. 2022年度事業計画

- ①偶発事例の情報収集と日本産婦人科医会及び東京都医師会との連携
- ②医事紛争処理解析およびノンテクニカルスキルについて、TAOGニュースなどで広報
- ③医療事故調査制度、妊産婦重篤合併症報告事業、JALA 有害事象収集事業への対応
- ④行政及び医師会等の情報を集約して、医療安全に向けての会員支援

## 2. 令和4年度偶発事例報告

2022年度は東京都産婦人科医会への偶発事例報告は20件であった。2019年は25例、2020年は16例、2021年度は13件であり減少傾向が続いていたが今年度は増加した。内訳は産科診療に関わる事例15例、婦人科診療に関わる事例3例、不妊症診療に関わる事例1例、分類不明1例であったそのうち母体死亡が4例、新生児脳性麻痺1例、児の死亡5例。

母体死亡4例のうち3例は出血による死亡であった。コロナ禍で母体救命コースが開催できなかったことが関係していると推察した。児の死亡のうち2例は無痛分娩中におきた子宮破裂による死産。

日本産婦人科医会医療安全部の妊産婦死亡報告事業で、2022年の母体死亡の報告は4件であった。(資料1, 2)。

2022年10月に行われた全国医療安全担当者連絡会で、偶発事例報告事業の2021年の事例解析結果が発

表された。妊産婦死亡は平成22年以降より妊産婦死亡報告事業として独立して運用されている。2021年偶発報告322事例の内訳は、妊娠・分娩に関わる事例が230例(71.4%)、婦人科診療に関わる事例が86例(26.7%)、不妊診療に関わる事例が6例(1.9%)。死亡例56例のうち胎児・新生児51例、非妊娠婦人5例(妊産婦死亡報告事業に報告された事例は除く)(資料9)。

## 3. 東京産婦人科医会への問い合わせへの対応

2022年度は1件で、新生児死亡のAI(死後の画像検査)についての問い合わせに対して「りすセンター」を案内した。

## 4. 会員への広報

- ①フェインジェクトの血管外漏出について、会員に注意喚起のチラシを送った。
- ②令和4年度全国医療安全担当者連絡会の報告をTAOGニュースに掲載した。
- ③迷惑行為への対策について、厚生労働省のホームページの紹介記事をTAOGニュースに掲載した。

## 5. 医療事故対策委員会の開催

議題は、1,令和4年度偶発事例報告、2,令和4年度東京都医師会医事分症委員会事故事例、3,令和4年度全国医療安全担当者連絡会の報告、5,令和5年度事業計画と予算、議事録は以下の通りである。

日 時：令和5年3月9日(木) 19:00～

場 所：WEB会議(ZOOM)

出席者：11名、会長：山田正興、

副会長：対馬ルリ子、松本和紀

理 事：岩田みさ子、水主川純

委 員：小田英之、砂倉麻央、菅原恒一、栃木明人、原澄子、間崎和夫

○挨拶

山田会長、対馬副会長より挨拶。

○議題

- (1) 令和4年度偶発事例報告(資料1, 2)(前述)
- (2) 令和4年度東京都医師会医事分症委員会事故事例(資料3)
- (3) 令和4年度全国医療安全担当者連絡会について(資料4～11)
- (4) 令和5年度事業計画(資料12)新たに分娩

取り扱い施設へのJ-CMELSについてのアンケート調査を追加

**【資料】**

資料1\_都道府県集計用2022年

資料2\_偶発事例報告2022年

資料3\_東京都医師会事事故事例2022年

資料4\_次第

資料5\_特別講演

資料6\_産科医療保障制度とCP

資料7\_提言

資料8\_重篤

資料9\_偶発事例報告

資料10\_コロナ6-7波

資料11\_R4全国医療安全担当者連絡会報告

資料12\_R5医療事故対策部\_事業計画と予算

**5. 今後の課題**

東京都産婦人科医会への偶発事例報告数は近年減少していたが、2022年度は増加に転じた。産科危機的出血による母体死亡も減少していたが、2020年より増加傾向にあり、コロナ禍で母体救命コースが開催できなかったことが影響しているものと推察する。2023年度は分娩取り扱い施設の意識を高める目的でJ-CMELSについてのアンケート調査を母子保健委員会と共同で行う予定である。

これまで東京産婦人科医会医療事故対策部は、会員への医療安全情報をTAOG Newsおよび会誌で提供してきた。東京産婦人科医会のホームページがリニューアルしたので、今後はホームページ上でも会員へ向けて医療安全情報をわかりやすく発信したい。

## 《病院部》

担当理事 水主川 純

### 病院部

担当副会長	莊 隆一郎
担当理事	水主川 純
副担当理事	前村 俊満
委員会委員長	原 澄子
委員	有馬 香織
委員	石田 友彦
委員	大槻 克文
委員	長嶋 武雄
委員	兵藤 博信
委員	平尾 薫丸
委員	前田 大伸
委員	柳田 聡
委員	山岸 絵美

### 令和4年度事業計画

1. 東京都産婦人科勤務医の職場環境、女性医師の支援体制に関する調査
2. 医師の働き方改革に関する課題と情報提供
3. 若手医師育成・支援のための課題と情報提供

令和4年度の病院部の事業計画は、東京都産婦人科勤務医の職場環境の調査、女性医師の支援体制に関する調査、医師の働き方改革に関する課題と情報提供、若手医師育成・支援のための課題と情報提供である。

### 令和4年度事業報告

2022年の日本産婦人科医会勤務医委員会による「産婦人科勤務医待遇改善と女性医師の就労環境アンケート」をもとに東京都のデータ分析を行い、勤務医委員会（令和5年3月16日開催：Zoomによる通信会議）で検討が行われた。

東京都内の産科医療機関98施設にアンケート調査票が送付され、64施設から回答があった（アンケート回収率：65.3%）。

1施設あたりの平均医師数では、常勤医師数10.5人、非常勤医師数4.7人であった。1施設あたりの平均分娩数は546.0件、平均帝王切開件数は152.0件であり、昨年と比較して減少した。一方、平均母体搬送受入数は55.6件、平均婦人科手術件数は284.2件

であり、昨年と比較して増加した。

当直翌日の勤務緩和体制を導入している施設の割合は53.1%、交代勤務を導入している施設の割合は9.4%であり、昨年と同等であった。また、分娩手当が支給されている施設の割合は57.8%、医療事務作業者が配置されている施設の割合は62.5%であり、昨年と同等であった。

総合周産期母子医療センター（以下、総合群：9施設）、地域周産期母子医療センター（以下、地域群：9施設）、周産期母子センターの指定がない医療機関（以下、指定なし群：46施設）の施設機能別に分類した検討では、1施設あたりの平均常勤医師数は総合群では25.0人、地域群では18.5人、指定なし群では6.2人であり、平均非常勤医師数は総合群では5.9人、地域群では3.3人、指定なし群では4.8人であった。勤務形態別の医師の割合に関しては、総合群では常勤女性が45.9%（1施設あたり平均14.1人）であり、常勤男性や非常勤男性・女性と比較して最も高い割合であった。1施設あたりの平均分娩数は総合群では884.7件、地域群では608.9件、指定なし群が467.7件であった。1施設あたりの帝王切開件数や母体搬送受入件数に関しても、総合群、地域群、指定なし群の順に件数が多かった。平均婦人科手術件数に関しては、地域群が510.7件と最多であり、総合群が425.5件、指定なし群が212.2件であった。

交代勤務を導入している施設の割合は総合群が22.2%、地域群が33.3%、指定なし群が2.2%であり、当直翌日の勤務緩和体制を導入している施設は総合群と地域群が88.9%、指定なし群が39.1%であった。短時間正社員制度が導入されている施設の割合は、総合群が77.8%、地域群が22.2%、指定なし群が41.3%であり、地域群が他群より低かった。

厚生労働省の通知による「医師、看護師等の宿日直許可基準」では、「医師・看護師等の宿日直は『通常の勤務時間の拘束から完全に解放された後のもの』で、『特殊の措置を必要としない軽度または短時間の業務』実施のみを行う場合に限り認められる」とされている。宿日直許可を申請予定である医療機関は26施設（40.6%）であるが、既に宿日直許可を取得している医療機関は10施設（15.6%）であった。一方、17施設（26.6%）が宿日直許可を申請についてはわからないという回答であった。B水準に関しても、申請を予定している医療機関は14施設（21.9%）であり、28施設（43.8%）が分からな

いと回答した。タイムカードやICカードによる勤怠管理は56施設（87.5%）で導入されていた。

今年度の調査結果では、1施設あたりの平均分娩数と帝王切開件数は昨年度と比較して減少しており、東京都における出生数や死産数が減少傾向にあることに影響を受けている可能性がある。一方、1施設あたりの母体搬送受入数と婦人科手術件数は昨年度と比較して増加していた。昨年度の調査結果では、これらの件数は一昨年度と比較して減少していた背景として、新型コロナウイルス感染症（coronavirus disease 2019：COVID-19）の感染拡大に伴い、産科合併症が認められた場合は、緊急搬送に至る前に外来への紹介が早期に行われることにより緊急搬送が減少している可能性や診療規模の縮小や待機可能な婦人科手術の延期等が影響している可能性が指摘されていた。今年度は、COVID-19によるこれらの診療体制の変化が1施設あたりの母体搬送受入数と婦人科手術件数は昨年度と比較して増加した要因の一つと考えられた。

勤務形態別の医師の割合に関しては、総合群のみで常勤女性が45.9%であり、常勤男性や非常勤男性・女性と比較して最も高い割合であった背景としては、女性医師が増えていること、総合群では常勤・非常勤の医師数が多く、当直翌日の勤務緩和体制や短時間正社員制度の導入率が高く、ワーク・ライフ・バランスを実現しながら勤務できる環境の確保が要因であると考えられた。

2024年の医師の働き方改革では、時間外労働上限基準や勤務間インターバルが求められており、宿日直許可の申請は課題の一つである。宿日直許可の申請は、まずタイムカードやICカードによる勤怠管理の整備により勤務時間を把握した上で申請の可否を検討する。宿日直許可の申請は、労働基準監督署に勤務実態を確認する申請書を提出し、労働基準監督官による実地調査が行われる。この調査では宿日直業務に実際に従事する医師等へのヒアリングや仮眠スペースの確認などが行われ、許可に関する判定が行われる。したがって、宿日直許可の申請した場合は、宿日直許可が取得できるかによって目指すべき水準が定まる。

今年度の検討では、タイムカードやICカードによる勤怠管理の導入率は87.5%であったが、B水準の申請に関しては、28施設（43.8%）が分からないと回答していた。また、宿日直許可の取得状況については、既に取得している医療機関は10施設（15.6%）にとどまっており、17施設（26.6%）が宿日直許可を申請についてはわからないという回答であった。大学病院等から医師の応援を受けている医療機関では、宿日直許可を得ることによって、今後も医師の応援を受けやすくなる。これは、病院と診療所が共存・共栄できる体制の確保にもつながる。したがって、本会も、会員に対する働き方改革に関する情報提供をより一層取り組んでいくことが必要である。

時間外労働上限基準という観点からは、原則として、所定労働時間外において上司の指示による研修受講や業務に必要な学習などの研鑽は、労働時間に該当するが、上司の指示によらず、自由意志に基づいて行われる研鑽は、労働時間に該当しない。したがって、それぞれの施設で労働時間に該当する研鑽と労働時間に該当しない研鑽の条件を明確化し、時間外労働が上限を超えないようにすることも重要であろう。

働き方改革は労働環境や医療安全の観点では望ましい変化である。個々のライフステージに応じたワーク・ライフ・バランスの実現するために働き方改革が推進されることが望まれている。ワーク・ライフ・バランスが働き方改革により向上することは、現役の産婦人科医だけでなく、将来産婦人科医を目指す者にとっても重要なことである。引き続き、本部会でも調査を行うとともに、情報発信も行いたい。

#### 令和4年度病院部会・勤務医委員会合同会議開催日程

日 時：令和5年3月16日（木）18：30～19：40

於：ZOOMによる通信会議

出席者：松本和紀副会長、莊隆一郎副会長、

水主川純担当理事、前村俊満副担当理事、  
兵藤博信・大槻克文・有馬香織・前田大伸・  
原澄子・山岸絵美 各委員

## 《癌対策部》

担当理事 木口 一成

### 癌対策部

担当副会長 松本 和紀  
担当理事 木口 一成  
副担当理事 岩田みさ子  
癌対策委員  
委員長 坂本 優  
委員 高橋 峰夫  
委員 高野 利興  
委員 井上 裕子  
委員 佐久間達朗  
委員 関根 憲

(順不同敬称略)

### 令和4年度事業計画（前年度の内容を継続）

#### 【癌対策部】

1. 各地区の子宮がん検診、乳がん検診実施状況調査結果の報告および課題克服の徹底
2. ベセスダシステム（子宮頸部細胞診報告様式）：導入の推進
3. マンモグラフィ検診の推進
4. 若年層における乳がん検診・超音波検査の検討
5. 液状検体採取法LBC：導入の推進
6. HPVワクチン接種勧奨のより一層の推進

### がん対策委員会としての活動報告

第1回令和4年7月7日、第2回を令和4年10月6日にZOOMによるWEB開催

### がん対策委員会における協議事項のまとめ

#### I. 令和2年度公費婦人科がん検診実施状況調査報告について（計画1・2・3・4の一部）

#### 委員会の総評

##### 1. 子宮頸がん検診部門

- ・トータル59施設のうち→検診方法については  
検診通年施行15施設（例年並み）  
クーポン実施施設が多い（例年並み）  
ベセスダシステムとクラス分類の併用5施設に減少

体癌検診併用施設23施設（例年並み）

LBC導入（導入済、検討したい、検討中を含め）  
29施設

（例年よりやや増加）

という結果であり、以前として指針が必ずしも遵守されていない状況が継続している。引き続き精度管理項目の達成および改善への啓蒙が重要と考える。

#### 2. 乳がん検診部門

- ・トータル59施設のうち→検診方法については  
視触診+マンモグラフィ（MMG）施行28施設  
MMGのみ施行26施設  
視触診のみ施行2施設  
超音波のみ施行3施設  
超音波+視触診施行0施設  
超音波+MMG施行1施設

という結果であり、子宮がん検診に比し、はるかに指針が遵守されている。

しかしながら、小数ではあるが、視触診のみ施行・超音波のみ施行・超音波+MMG施行施設もみられ、受診者の不利益を考慮した精度管理の徹底が必要と思われる。

#### 3. 今後の婦人科がん検診実施における改善への提案

アンケート全体に対し、従来から施行している単なる事業評価のみならず、今後は更に一步踏み込んだ検診の精度管理に関する評価も加えるべきとの意見も提出された。今後検討する予定である。

### II. HPVワクチン接種推奨について（計画6）

#### ○東京都医師会への要望書提出

##### 20～22歳における子宮頸がん検診無料化に関する要望書

謹啓 時下益々清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より格別のお引き立てを頂き厚く御礼申し上げます。

さて、次年度東京都の予算に関しまして、下記の項目に対して貴会に特段のご配慮を頂きたく、要望いたします。

厚労省によるHPVワクチン接種を見送り、接種対象年齢を越えた女子へのキャッチアップ接種の機会の提供に加え、接種機会を逃した2000年度生まれの子宮頸がん検診対象者（現在22歳）に2001年度生まれ（現在21歳）、2002年度生まれ（現在20歳）を加えた3学年を対象に積極的な受診を促すための無料クーポンの個別配布に対する予算成立にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

○日産婦人会からHPVワクチン接種に関する周知・徹底依頼（令和4年4月）

・HPV ワクチンの接種間隔について：

**HPVワクチンの接種間隔についての現在の取扱い**

<添付文書>

サーバックス（GSK、2価）	ガーダシル（MSD、4価）
用法・用量 10歳以上の女性に、通常、1回0.5mLを0、1、6ヵ月後に3回、上腕の三角筋部に筋内接種する。	9歳以上の者に、1回0.5mLを合計3回、筋内に注射する。通常、2回目は初回接種の2ヵ月後、3回目は6ヵ月後に同様の用法で接種する。
用法・用量に留意する注意（接種間隔） 本剤の接種上、やむを得ず接種間隔の変更が必要な場合は、2回目の接種は1回目の接種から1～2.5ヵ月の間で、3回目の接種は1回目の接種から5～12ヵ月の間で調整すること。	1年以内に3回の接種を終了することが望ましい。なお、本剤の2回目及び3回目の接種が初回接種の2ヵ月後及び6ヵ月後にできない場合、2回目接種は初回接種から少なくとも1ヵ月以上、3回目接種は2回目接種から少なくとも3ヵ月以上間隔を置いて実施すること。

<定期接種実施要領>

サーバックス（GSK、2価）	ガーダシル（MSD、4価）
13歳となる日の属する年度の初日から当該年度の末日までの期間を標準的な接種期間とし、標準的な接種方法として、1月の間隔をおいて2回行った後、1回目の注射から6月の間隔をおいて1回行うこと。ただし、当該方法をとることができない場合は、1月以上の間隔をおいて2回行った後、1回目の注射から5月以上かつ2回目の注射から2ヵ月以上の間隔をおいて1回行うこと。	13歳となる日の属する年度の初日から当該年度の末日までの期間を標準的な接種期間とし、標準的な接種方法として、2月の間隔をおいて2回行った後、1回目の注射から6月の間隔をおいて1回行うこと。ただし、当該方法をとることができない場合は、1月以上の間隔をおいて2回行った後、2回目の注射から3月以上かつ2回目の注射から2ヵ月以上の間隔をおいて1回行うこと。

（第47回 厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会 予防接種基本方針部会 資料1より）

上記の<定期接種実施要領>を確認の上、適切な接種間隔で接種を行ってください。  
とくにキャッチアップ接種の女性では標準的な接種スケジュールから逸脱していることが多く

ありますので、実施要領の後半の部分をご参照ください。

（注）定期接種における「1月」の考え方：  
予防接種法に基づき定期接種の接種間隔は、民法を根拠に解釈されます。期に従って期間の末日を計算しますので、「1月の間隔を置く」とは、**翌月の同日の前日に1ヵ月経過したと考えます**。したがって、「翌月の同日から前日」になり、翌月に同日となる日が存在しない場合は、翌月最終日の翌日（つまり1日）から接種可能になります。  
（例：1月15日→2月15日・1月31日→3月1日）

・キャッチアップ接種における接種間隔：  
2022年4月より始まったキャッチアップ接種は、予防接種法に則って実施されますが、**接種間隔**についても、**定期接種と同様のスケジュール**となります。  
なお、HPV ワクチンを過去に1回又は2回接種した後、接種を中断し、3回接種のスケジュールを最後まで完了していない者の接種間隔は、従来どおり、標準的な接種方法をとることができない場合の間隔となります。詳細は「予防接種法第5条第1項の規定による予防接種の実施について」（平成25年3月30日付け健発0330第2号厚生労働省健康局長通知）の別添「定期接種実施要領」の第2の7を参照ください。

○東京都医師会より、「ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種に関する相談支援・医療体制強化のための地域ブロック拠点病院整備事業の実施機関の決定について」の周知・徹底依頼（令和4年4月25日）

○HPVワクチン接種後に生じた症状に関する診療マニュアル

目次

はじめに ..... 1

1. ワクチン接種後の多様な症状 ..... 1

    - 機能的な身体症状、接種後ストレス関連反応（ISRR）や関連病態の理解 - ..... 3

1.1 接種後ストレス関連反応（ISRR）とは？ ..... 6

1.2 接種後ストレス関連反応（ISRR）に関連した悪循環モデル ..... 7

2. HPV ワクチン接種からフォローアップまでの流れ ..... 9

2.1 HPV ワクチンの接種時からのフォロー ..... 9

2.2 接種後-かかりつけ医の基本的な役割と診療姿勢について ..... 10

    1) ワクチン接種時と副反応出現時に果たすべき役割 ..... 10

    2) 予防接種時の確認事項 ..... 10

    3) ワクチン接種時の手技において注意すべきポイント ..... 10

        ① 筋内注射の副反応による問題について：神経障害やSIRVA など ..... 11

        ② 手技の実際（筋内注射手技マニュアル） ..... 11

2.3 多様な症状の出現時に対応にあたる際の医師の診療姿勢と役割 ..... 15

    1) 面接-問診のポイント ..... 15

    2) 診療のポイント ..... 16

    3) 検査（血液検査-画像検査等） ..... 17

    4) 鑑別診断 ..... 18

        ① 痛みの一時的鑑別として

        ② 痛みを伴う病態

        ③ 麻痺や運動異常

5) 診断の考え方と伝え方 ..... 19

6) 治療のポイント ..... 20

    ① 患者・家族-医療者の疾患認識の共有 ..... 20

    ② 認知行動療法的治療 ..... 21

    ③ リハビリテーション ..... 21

    ④ 薬物療法 ..... 21

    ⑤ その他の症状に対する対応療法 ..... 22

3. 審議等の対応と基準 ..... 23

    3.1 副反応疑い報告制度について ..... 23

    3.2 予防接種健康被害救済制度について ..... 26

4. 予防接種・ワクチンの意義 ..... 29

    - 予防接種・ワクチンに求められる安全性 - ..... 30

5. HPV ワクチンに関するこれまでの経緯とエビデンス ..... 31

    5.1 HPV ワクチンをめぐる社会情勢と国の対応 ..... 31

    5.2 HPV ワクチンの安全性に関する報告 ..... 34

    5.3 HPV ワクチン接種の意義について ..... 38

        - HPV ワクチンの子官頸がん予防に対する有効性エビデンス - ..... 38

6. Appendix ..... 44

    ① 複合性局所疼痛症候群 ..... 44

        CRPS: Complex Regional Pain Syndrome ..... 44

    ② ワクチン接種における副反応や神経走行と安全な注射部位について ..... 46

    ③ 協力医療機関リスト ..... 49

○Tokyo Vaccine Seminar 視聴

**Tokyo HPV Vaccine Seminar**

観覧 時下、先生におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。さてこの度、「Tokyo HPV Vaccine Seminar」を次のとおり開催させて頂く運びとなりました。つきましては、ご多用とは存じますが、ご参加賜りますようお願い申し上げます。

日時 **2022年7月22日（金）19:20-21:00**

形式 **Web配信（Zoom/Veeva Engage）**

製品紹介 19:20～19:30「ベルムラ錠」

開会の辞 東京産婦人科医学会 会長 山田医院 院長 山田 正興 先生

座長 東京産婦人科医学会 会長 山田医院 院長 山田 正興 先生

講演Ⅰ 「思春期女性の慢性疼痛とその診療」

19:30-20:00 演者 東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部 部長 麻酔科・痛みセンター 准教授 住谷 昌彦 先生

講演Ⅱ 「HPVワクチン～七転び八起き九年の空白を 取り戻すための十箇条」

20:00-21:00 演者 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 小児科学 教授 森内 浩幸 先生

閉会の辞 東京小児科医学会 会長 堀小児科医院 院長 堀 佳生 先生

①本講義会は、Veevaが提供しているVeeva Engage/Zoomのアカウントが必要となります。事前に当該アカウントが必要なることをご承知ください。MacはVeeva EngageのアカウントがございませんのでZoom7 プラグインをご参加ください。  
なお、講師はMSD Connectの会員登録（無料）と、事前研修受講を願っております。別途、弊社担当者から会員登録のご案内をさせていただきます。  
②ご観覧はExpress mailによる事前の参加登録が必要です。本講義会にご参加ご希望される場合は担当MRに連絡ください。お申込みいただいた後、弊社による参加の案内が郵送にてお送りいたします。

共催 東京産婦人科医学会/東京小児科医学会/MSD株式会社

○東京都医師会より厚労省HPVワクチン拠点病院整備事業医療者講演会の聴講と周知依頼

横浜市立大学付属市民総合医療センターペインクリニック内科主催

**厚労省 HPV ワクチン拠点病院整備事業 慢性痛モデル事業 医療者講習会**

日時 **2022年6月12日（日）14時～16時**

場所 **座談会形式のオンラインズーム配信**（横浜ベイホテル東急より）

費用 **無料**

内容

1.開会挨拶 座長  
北原 雅樹 横浜市立大学附属市民総合医療センターペインクリニック内科 診療部長 医師 公認心理師

2.HPVワクチン動員接種再開に向けて 地域連携の大切さについて  
浅枝まり子 横浜市立大学附属市民総合医療センター 公認心理師  
東京大学公共政策大学院医療政策実践コミュニティ-修生

3.児童・思春期の心身不調：子どもと保護者の気持ちを理解することの大切さ  
宮本 信也 児童精神科医  
白百合女子大学 発達心理学教授

4.ズーム参加者からの質疑応答 会場におけるディスカッション

※参加者はHPVワクチン診療マニュアルを読んでおくことを推奨します。  
https://nippon-itomi.org/

お申込み QRコードから <https://forms.gle/qD9vR3Jm5M5Qz9>  
お問い合わせ [info.ycu.pain@gmail.com](mailto:info.ycu.pain@gmail.com)  
横浜市立大学付属市民総合医療センターペインクリニック内科

厚生科学審議会 HPV ワクチン接種の再開に関する部会 2022年9月12日 14:00-16:00

① HPV ワクチン接種再開に向けて「追加接種の必要性」について（注）

- ・ 接種後に免疫応答が低下する傾向があること（注）
- ・ 接種後に免疫応答が低下する傾向があること（注）
- ・ 接種後に免疫応答が低下する傾向があること（注）

② 追加接種の必要性

③ 追加接種の必要性

④ 追加接種の必要性

⑤ 追加接種の必要性

⑥ 追加接種の必要性

⑦ 追加接種の必要性

⑧ 追加接種の必要性

⑨ 追加接種の必要性

⑩ 追加接種の必要性

⑪ 追加接種の必要性

⑫ 追加接種の必要性

⑬ 追加接種の必要性

⑭ 追加接種の必要性

⑮ 追加接種の必要性

⑯ 追加接種の必要性

⑰ 追加接種の必要性

⑱ 追加接種の必要性

⑲ 追加接種の必要性

⑳ 追加接種の必要性

㉑ 追加接種の必要性

㉒ 追加接種の必要性

㉓ 追加接種の必要性

㉔ 追加接種の必要性

㉕ 追加接種の必要性

㉖ 追加接種の必要性

㉗ 追加接種の必要性

㉘ 追加接種の必要性

㉙ 追加接種の必要性

㉚ 追加接種の必要性

㉛ 追加接種の必要性

㉜ 追加接種の必要性

㉝ 追加接種の必要性

㉞ 追加接種の必要性

㉟ 追加接種の必要性

㊱ 追加接種の必要性

㊲ 追加接種の必要性

㊳ 追加接種の必要性

㊴ 追加接種の必要性

㊵ 追加接種の必要性

㊶ 追加接種の必要性

㊷ 追加接種の必要性

㊸ 追加接種の必要性

㊹ 追加接種の必要性

㊺ 追加接種の必要性

㊻ 追加接種の必要性

㊼ 追加接種の必要性

㊽ 追加接種の必要性

㊾ 追加接種の必要性

㊿ 追加接種の必要性

○日本産婦人科医学会より HPV ワクチン接種間隔に関する変更についてのお知らせ

**ワクチンの接種間隔について（HPV ワクチンを中心に）**

日本産婦人科学会理事長 木村 正  
日本産婦人科医学会会長 石渡 勇

HPV ワクチンの接種間隔（HPV ワクチン及び他のワクチンとの接種間隔）について一部混乱が生じておりますので、一旦現状の情報を整理いたしました。会員の皆様におかれましては、ご注意いただきたくよろしくお願い申し上げます。

**1. HPV ワクチンと他のワクチン（新型コロナウイルスワクチンを除く）との接種間隔**

令和2年（2020年）10月1日から接種間隔について一部制限が解除され、HPV ワクチンと他のワクチンとの接種間隔に制限はありません。よって、**医師が必要と認められた場合には、他のワクチンと同時に接種することができます。**

**<令和2年10月1日からの「異なる種類のワクチンを接種する際の接種間隔のルール」>**

**※ ワクチンの種類について**

**注射生ワクチン:** 麻しん風しん混合ワクチン・水痘ワクチン・BCG ワクチン・おたふくかぜワクチン など

**経口生ワクチン:** ロタウイルスワクチン など

**不活化ワクチン:** **HPV ワクチン**・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン・B型肝炎ワクチン・4種混合ワクチン・日本脳炎ワクチン・季節性インフルエンザワクチン など

○7月26日（火）東京産科婦人科学会との懇談会

①東京都医師会への要望書

「20～22歳における定期子宮頸がん検診の接種化（既述）」

②HPV ワクチン接種の再開及びキャッチアップ接種のエビデンスを踏まえた啓発について

**HPV ワクチンの個別勧奨再開について**

子宮頸がん予防ワクチン（HPV ワクチン）は、ワクチンとの因果関係を否定できない副反応が見られたことから、平成25年6月以降以降、副反応の発生頻度等が明らかになるまでの間、定期接種を積極的に勧奨すべきではないとされてきました。

**HPV ワクチンの積極的勧奨の取扱いに関する議論と結論（エビデンス）**

厚生科学審議会副反応検討部会・安全対策研究会合同会議（令和3年10月、11月開催）

**HPV ワクチンの安全性について**

HPV ワクチン接種後に生じた症状（慢性疲労、体位性頻脈症候群、自己免疫性疾患など）と HPV ワクチンとの関連について国内外でこれまで調査が行われているが、ワクチン接種との関連性は明らかになっていない。

**HPV ワクチンの有効性について**

国内外の研究において、HPV ワクチン接種による、HPV の感染や子宮頸部異形成の予防効果が示され、ワクチンの有効性は10年以上の長期間持続することを示唆する結果が示されている。さらに近年、海外の大規模調査において、子宮頸がんの予防効果も示されている。

**HPV ワクチンの集団免疫効果について**

HPV ワクチン未接種の女性や男性においても、HPV 感染とそれによる子宮頸部異形成や肛門性器癌に対する集団免疫効果が報告されている。

以上の理由により、令和4年4月からの HPV ワクチンの個別勧奨再開が決定されました。

○東京都の HPV ワクチン接種の実態把握のためのアンケート調査実施依頼（2022. 1月～11月）

**HPV ワクチン接種数調査につきまして（※）**

拝啓 日頃より本会事にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

HPV ワクチン積極的勧奨中止から9年、その間も定期接種ではありませんでした。1月から積極的勧奨中止の中止、4月から積極的勧奨再開、6月からキャッチアップ接種開始と進んでおります。その経過中、接種の状況の変化を調査したいと考えております。

そこで、各地区の接種状況につきまして、別添回答書にご記入のうえ、11月30日（水）までにご提出いただく方、Webの回答フォームにてご回答いただきますようお願い申し上げます。また、参考資料として厚生労働省HPに掲載のB2 厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会に関する資料をお送りいたしますので、ご参照いただけますようお願いいたします。

地区会長の皆さま方におかれましては、御多忙の中恐れ入りますが、御協力賜りますようお願い申し上げます。

敬具

○令和4年度第2回ブロック代表者会及び会長協議会（令和5年1月21日）における報告

①各地区の子宮がん・乳がん検診の実施状況報告（前記）

② HPV ワクチン接種推奨についての情報共有

「厚生科学審議会予防接種・ワクチン部会におけるヒトパピローマウイルス感染症の予防接種に関する議論について」（東都医発第2563号令和4年12月13日付）一部抜粋

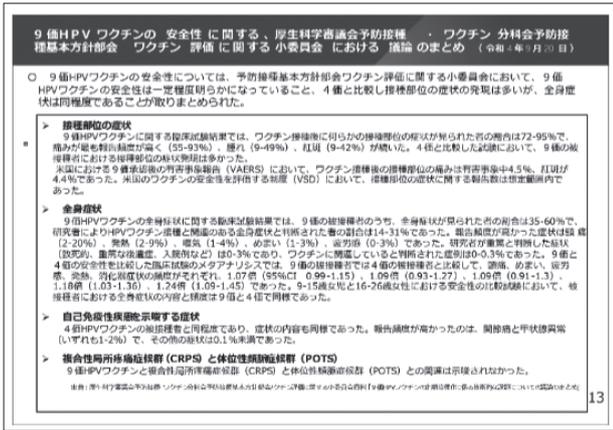
○9価 HPV ワクチンの添付文書において、下記の用法・用量等が示されていること。

- ・ 9歳以上の女性に1回0.5mLを合計3回、筋肉内に注射する。
- ・ 1年以内に3回の接種を終了することが望ましい。
- ・ 通常、2回目は初回接種の2ヵ月後、3回目は6ヵ月後に接種する。
- ・ 2回目及び3回目の接種を初回接種の2ヵ月後及び6ヵ月後にできない場合、2回目接種は初回接種から少なくとも1ヵ月以上、3回目接種は2回目接種から少なくとも3ヵ月以上の間隔を置いて実施すること。

○2価又は4価の HPV ワクチンを用いて規定の回数の一部を完了した者が9価 HPV ワクチンにより残りの回数の接種を行う方法（交互接種）も、適切な情報提供に基づき、医師と被接種者等がよく相談した上であれば、実施可能となる予定であること。

○現在国において、2回の接種により完了となる9価 HPV ワクチンの接種方法の承認の審査が行われていること。

○9価 HPV ワクチン接種に係る副反応疑い報告基準は、現行と同様とされる予定であること。



○令和5年3月11日開催の臨時総会における報告

① HPV ワクチン接種数アンケート調査報告

1. 集計結果及び参考データ (図1～図10)

①ブロック別

イ 月別定期接種数(2価、4価、2価+4価)(図1)

ロ 月別キャッチアップ接種数(2価、4価、2価+4価)(図2)

②ブロック総数

イ 月別定期接種数(2+4価)(図3)

ロ 月別キャッチアップ接種数(2+4価)(図4)

ハ 全月別副反応症例数(軽症、重症)(図5)

③参考データ

イ HPV ワクチン(2/4/9価)全国推定接種人数(図6)

ロ 全国10政令市における HPV ワクチン接種状況(定期接種、キャッチアップ接種)(図7)

ハ HPV 2価ワクチンの副反応疑いの報告(図8)

ニ HPV 4価ワクチンの副反応疑いの報告(図9)

ホ HPV 9価ワクチンの副反応疑いの報告(図10)

2. 結果と考察

●ブロック別月別定期接種数(2価、4価、2価+4価)(図1)について

・ブロック別でやや差があるものの、共通した傾向として1～3月にかけて順調に増加しているが、一端4月に減少し、その後再び増加し始め6～9月にピークを迎えている。4月から一気に上昇するかと予想されたが、安定するまでのそれなりの準備期間も必要だったようである。

・2価/4価の接種比率に関しましては、予想されたように殆どが4価であった。

●ブロック別月別キャッチアップ接種数(2価、4価、2価+4価)(図2)について

・キャッチアップ接種に関しては、定期接種とは異

なり城東・南及び城西・南ブロックを除き、その他のブロックではおそらく接種対象者が慎重に判断したこともあり、少し遅れて4月ごろより上昇し始め、7～10月ごろにピークを迎えている。

・定期接種と同様に2価/4価の接種比率に関しては、予想されたように殆どが4価だった。

●ブロック総数月別定期接種数(2+4価)(図3)について

・ブロック総数月別定期接種数(2+4価)を見ると、合計で57,433症例(キャッチアップの2.8倍)あり、3～4月及び7月～10月の明らかな二峰性ピークを形成している。

●ブロック総数月別キャッチアップ接種数(2+4価)(図4)について

・ブロック総数月別キャッチアップ接種数(2+4価)の合計は20,476症例であり、ブロック総数月別定期接種数(2+4価)と比較するとその違いは明らかで、1月から極めて徐々に増加し、7月～10月にそのピークを迎えている。

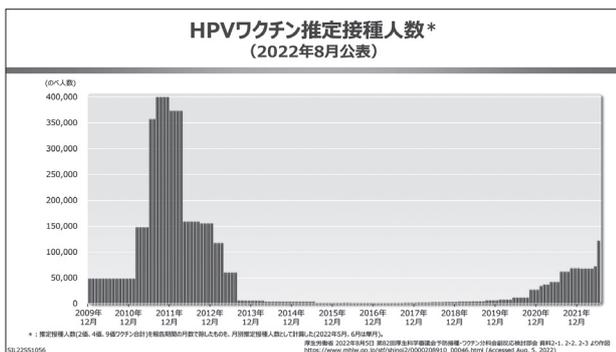
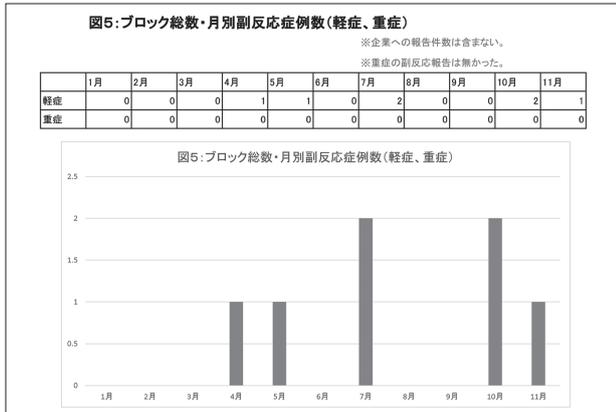
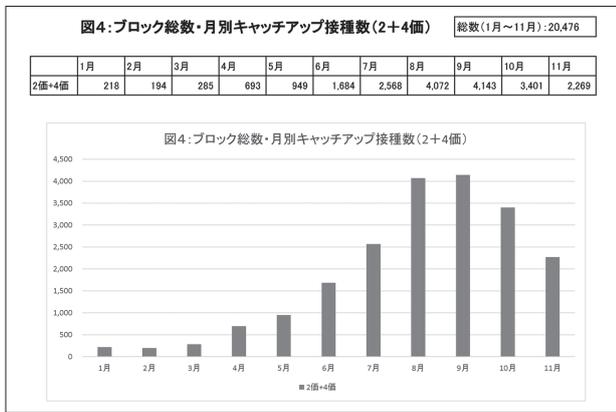
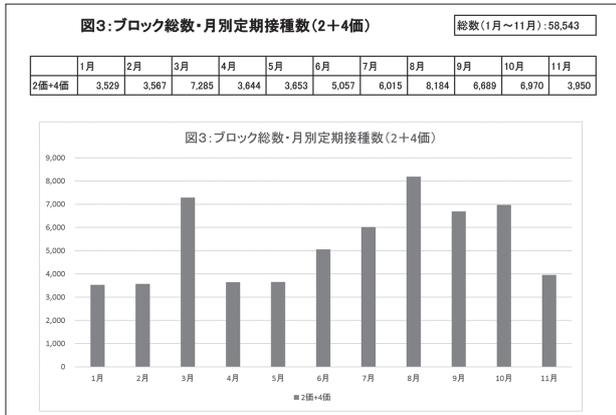
●参考までに2022年10月に公表された厚生労働省厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会資料 HPV ワクチン(2/4/9価)全国推定接種人数(図6)を見てみると、2011年9～12月のピーク時の接種数が400,000人であり2013年10月より、定期接種の積極的接種勧奨中止の余波を受け低迷し続け、2020年の11月ごろから徐々に増加し始め、2022年9月にはようやくピーク時の約半数の200,000人に到達している。

●さらに、全国10政令市における HPV ワクチン接種状況(定期接種、キャッチアップ接種)(図7)を見てみると、2022年4月～7月の4か月間の累計接種者数は、定期/キャッチアップ接種はほぼ同数の約9,600人となり、定期接種実施率は16.6%と報告されている。

●ブロック総数全月別副反応症例数(軽症、重症)(図5)について

・ブロック総数全月別副反応症例数については、図3及び図4にみられるように、定期とキャッチアップ両者共通の接種数のピーク時(7月と10月)に副反応報告が集中しているが、軽症のみで全接種数(定期+キャッチアップ)77,909例中7例(0.009%)と極めて少数であり、重症例は皆無であり HPV ワクチンの安全性が今回のデータにおいても実証されている。

● HPV 2 / 4 / 9 価ワクチンの副反応疑いの報告 (図8～10) についても厚生労働省厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会の資料によると、2022年4月1日～1か月間の副反応報告は重症例も含め極めてわずかであった。



※紙面の都合で、図3・4・5・6のみ掲載。

②9価ワクチン導入についての注意事項 (TAOG ニュース4月号原稿の紹介)

HPVワクチン接種動向について  
～9価ワクチン導入についての現状や注意事項など～

がん対策部担当: 木口 一広

○HPVワクチン接種の現状と課題  
・本報においては若年層の子宮頸がんが急増しており、HPVワクチン接種による一次予防が急務である。HPVワクチン接種の再開やキャッチアップ接種の実効性を上げるためには、今年度の接種率向上が必須であり、合わせてキャッチアップ接種の対象者に対する子宮頸がん検診の受診勧奨者に対する受診勧奨の強化も重要である。今後、最も一次予防効果の高い9価ワクチン(図1)の定期接種化や先進諸外国のように男子への定期接種化も図る必要がある。本稿では本年4月スタート予定の9価ワクチン導入について、注意事項を述べる。

図1

1. 9価ワクチンの接種について (3回/2回)  
・標準的な接種期間については添付文書に依り4価ワクチンと同様とするが、標準的なスケジュールで接種できない場合は下記の様に実施  
・9価ワクチンの2回接種については、現在、製造販売承認に向け申請中であったが、2月27日の医薬品部2

報告が承認され、3月7日の勧奨で実施された(※2)。

図2

図3

図4

図5

図6

図7

図8

図9

図10

図11

図12

図13

図14

図15

図16

図17

図18

図19

図20

図21

図22

図23

図24

図25

図26

図27

図28

図29

図30

図31

図32

図33

図34

図35

図36

図37

図38

図39

図40

図41

図42

図43

図44

図45

図46

図47

図48

図49

図50

図51

図52

図53

図54

図55

図56

図57

図58

図59

図60

図61

図62

図63

図64

図65

図66

図67

図68

図69

図70

図71

図72

図73

図74

図75

図76

図77

図78

図79

図80

図81

図82

図83

図84

図85

図86

図87

図88

図89

図90

図91

図92

図93

図94

図95

図96

図97

図98

図99

図100

○東京都医師会へ「HPVワクチンの男性への接種勧奨について」の要望書の提出

公益社団法人東京都医師会  
会長 岡崎 治夫 先生 保寿史

一般社団法人東京漢方内科協会  
会長 山田 正典

HPVワクチンの男性への接種勧奨に関する要望書

啓言 時下益々ご多幸のこととお慶び申し上げます。また、日頃より格別のお引き立てを頂き厚く御礼申し上げます。

ご存じのように9年間のブランクを経て、ようやく2021年11月にHPVワクチン定期接種の候補的勧奨再開およびキャッチアップ接種の決定がなされ、2022年4月より施行されるようになりました(図1)。しかしながら、現状では浸透率の10(各市の浸透率)(2022年4月～7月)に達するアンケート公表(表1)では、一部浸透率16%、3回接種率4.4%と残念なことに期待に反し上昇してはならず、子宮頸がん罹患率の減少に結びついておりません。

更に、子宮頸がん罹患率減少の為の車の両輪としてHPVワクチン高接種率と同時に重要なのは、子宮頸がん受診率の向上ですが、こちらも先進国諸国の約半分(約40%)にとどまっております。本年4月からは、我が国においても受診率が急増するHPVワクチンの定期接種化が決定されておりますが、一方で先進国(米国、カナダ、オーストラリア)においては、既に13歳男女に対する9価ワクチン接種率を80%の高接種率で施行しており(表2)高い子宮頸がん検診受診率とも相まって近い将来の子宮頸がんの発生が顕著な減少を期待してまいりました。

このような世界的状況の中で今後、我が国のHPVワクチンの候補的勧奨再開後に克服すべき課題としましては、下記の3点が挙げられると思っております。

1 HPVワクチン接種を見送り対象年齢を越えた女子へのキャッチアップ接種の機会提供  
2 9価HPVワクチン接種の定期接種化  
3 男子へのHPVワクチン接種の定期接種化  
4 ワクチン未接種の性交渉を持つ始めた女子に対する子宮頸がん検診受診勧奨強化

今後は特に以下に述べるHPVワクチンの男子への定期接種化に対する次年度東京都の予算に賛同して貴会に特段のご配慮を頂たく、お願いいたします。

○日本医師会よりHPVワクチンの接種に係る医療機関向け研修会の動画配信・周知徹底についての案内

HPVワクチンの接種に係る医療機関向け研修会の動画配信について今般、厚生労働省より本会に対し標記の周知方依頼がありました。

議題：①診療マニュアルの紹介 ②子宮頸がんの現状・治療と検診 ③接種前・接種時の説明 ④接種後症状に対するファーストタッチ医の役割 ⑤拠点病院、協力医療機関の役割 ⑥模擬症例について ⑦質疑応答 ⑧接種時の注意点など（動画） ⑨副反応疑い報告制度および健康被害救済制度について ⑩HPVワクチンに関する施策について

Ⅲ. 乳がん検診における課題の検討（計画1・3・4）

計画1の各地区の乳がん検診実施状況調査結果の報告および課題克服の徹底、計画3のマンモグラフィ検診の推進、計画4の若年層における乳がん検診・超音波検査の検討についての議論を深める前に乳がん検診の専門家の講演を視聴することになった。

○第309回東京産婦人科医会臨床研究会における講演の視聴

「若年性乳がんの諸問題とその早期発見に向けて」  
 演者 聖マリアンナ医科大学 外科学 乳腺・内分泌外科主任教授 津川浩一郎先生

講演内容

議題①若年性乳がんについて

若年性乳がんにおける課題

- ・検診システム（現状では早期発見・早期治療が不十分）。
- ・遺伝：新規乳がんの発生、卵巣がん、その他のがんの発がんリスク。
- ・予後：再発、新たな乳がん。
- ・妊娠・授乳期の乳がん
- ・治療後の妊孕性：妊娠・出産の可能性、妊娠と予後
- ・性生活：治療に伴う変化、再開、パートナーとの関係、予後。
- ・仕事：継続、休職、再就職。
- ・子供：子供への精神社会的影響。
- ・各種治療の長期的影響（データが少数）

議題②乳がん検診の現状と課題

- ・検診目的：無症状の人が対象、早期発見・早期治療を目的とし、死亡率減少が最終・最大目標
- ・対策型・任意型により方法が異なる。
- ・マンモグラフィ、超音波でそれぞれ長所・欠点がある。
- ・乳房構成に伴う検診精度（年齢/妊娠など）、検診の利益・不利益問題。

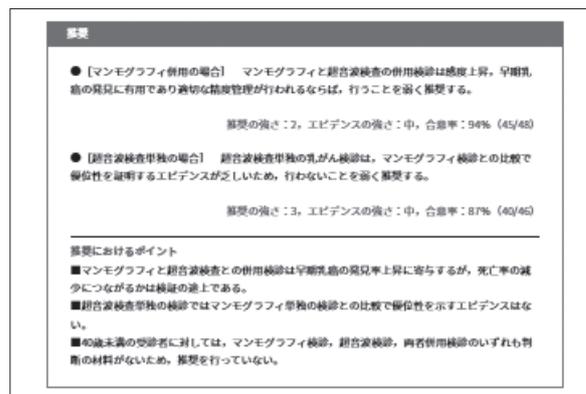
○米国USPSTFのリコメンデーション

スクリーニングマンモグラフィ

- ・40～49歳に対して、grade C（利益は少なく、ルーチンに勧めることはできない。個々のケースによって考慮する必要あり）
- ・50～70歳に対して、grade B（利益は中等度で、勧められる）
- ・75歳以上、grade I（利益とリスクについての現時点でのエビデンスは明らかではない）

○日本のガイドライン

日本乳癌学会編：乳癌診療ガイドライン2022年度版、疫学・診断編



議題③若年者に対する乳がん検診

○米国放射線学会による妊娠・授乳期に関するリコメンデーション

- ・授乳中のマンモグラフィ：撮影前に授乳あるいは搾乳→感度上昇の可能性。
- ・妊娠中のマンモグラフィ：禁忌ではない。低被曝占領、遮蔽併用。
- ・造影MRIは推奨しない：造影剤の安全性、背景乳腺の染まりに問題あり。
- ・核医学は適応なし。
- ・超音波は適応あるも死亡率減少のエビデンス無。

○日本乳癌検診学会による2018年度における乳癌検診全国集計結果

表2. 実施体制別・検診方法別受診者数(2018年度分集計)

検査方法	対策型検診 1,625,920 61%		任意型検診 1,644,019 39%		合計
	地域・出張	地域・施設	職域	個人・ドック	
1 視触診のみ	2,716	4,037	14,485	8,135	29,373
2 MGのみ	725,191	238,748	250,947	114,484	1,329,370
3 USのみ	157,865	19,076	129,669	82,075	388,685
4 視触診+MG	115,006	190,154	123,482	46,412	475,054
5 視触診+US	2,788	1,985	43,128	19,476	67,377
6 MG+US	120,090	20,548	61,321	81,326	283,285
7 視触診+MG+US	5,654	22,062	31,058	38,002	96,786
総計	1,129,310	496,610	654,100	389,910	2,669,930

※42,278 (2017) ← 61,868 (2016)  
※矢印は前年比

対策型

任意型

●視触診のみ ●MGのみ ●USのみ ●視触診+MG ●視触診+US ●MG+US ●視触診+MG+US

図2. 実施体制別・検診方法別受診者数(2018年度分集計)

表3. 年齢階級別の検診方法(2018年度分集計)

検査方法	～29歳	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
1 視触診のみ	7.90%	2.50%	0.90%	1.00%	0.70%	0.50%	0.20%
2 MGのみ	9.70%	11.90%	47.40%	51.70%	62.30%	65.40%	67.40%
3 USのみ	56.60%	59.10%	11.40%	8.90%	5.80%	4.50%	4.80%
4 視触診+MG	3.00%	5.50%	19.40%	20.30%	18.50%	20.60%	20.10%
5 視触診+US	14.90%	9.20%	2.20%	1.70%	0.80%	0.40%	0.30%
6 MG+US	4.20%	7.70%	13.90%	11.90%	9.30%	7.20%	6.00%
7 視触診+MG+US	3.70%	4.00%	4.70%	4.50%	2.60%	1.40%	1.20%

表6. 年齢階級別プロセス指標(2018年度分集計)

年齢	要精検率	精検受診率	乳癌発見率	早期癌割合	非浸潤癌割合	陽性反応適中度	未把握率	未受診率
～29歳	2.6%	72.4%	0.006%	50.0%	0.0%	0.2%	18.9%	5.3%
30～39	3.3%	78.7%	0.064%	78.4%	31.1%	2.0%	12.7%	6.0%
40～49	5.7%	83.7%	0.237%	73.3%	25.6%	4.1%	9.6%	4.6%
50～59	4.4%	84.4%	0.265%	73.7%	19.7%	6.0%	9.2%	4.4%
60～69	3.6%	90.7%	0.346%	74.3%	18.9%	9.6%	5.5%	2.6%
70～79	3.6%	92.6%	0.385%	78.8%	19.9%	10.8%	4.5%	2.0%
80歳～	3.4%	90.8%	0.421%	75.9%	16.0%	12.4%	5.5%	2.8%
合計	4.3%	85.7%	0.266%	75.0%	21.2%	6.2%	8.5%	4.0%

表9. 検査方法別プロセス指標(2018年度分集計)

検査方法	要精検率	精検受診率	乳癌発見率	早期癌割合	非浸潤癌割合	陽性反応適中度	未把握率	未受診率
視触診のみ	0.7%	58.5%	0.054%	28.6%	0.0%	8.0%	30.0%	7.0%
MGのみ	4.6%	87.7%	0.269%	74.0%	22.3%	5.8%	6.1%	4.4%
USのみ	2.3%	78.7%	0.137%	80.4%	19.6%	5.9%	11.6%	7.6%
視触診+MG	5.4%	84.1%	0.295%	75.3%	19.4%	5.5%	12.3%	2.3%
視触診+US	3.6%	74.5%	0.142%	80.6%	24.2%	3.9%	18.5%	3.5%
MG+US	4.0%	86.9%	0.371%	71.7%	20.7%	9.3%	7.7%	4.0%
視触診+MG+US	5.3%	84.5%	0.457%	84.2%	20.9%	8.7%	9.3%	2.4%
合計	4.3%	85.7%	0.266%	75.0%	21.2%	6.2%	8.5%	4.0%

表12. 年齢階級別乳房構成(2018年度分集計)

年齢	受診者数 (不明除く)	脂肪性	乳腺散在	高濃度乳房	
				不均一高濃度	極めて高濃度
～29歳	2,180	0.8%	10.8%	64.6%	23.8%
30～39	24,606	1.6%	22.5%	65.2%	10.7%
40～49	243,346	2.5%	29.1%	62.4%	5.9%
50～59	213,220	5.3%	43.2%	48.8%	2.8%
60～69	217,977	7.8%	53.6%	37.0%	1.5%
70～79	136,646	10.8%	57.2%	30.7%	1.2%
80歳～	18,576	16.3%	59.8%	22.9%	1.0%
合計	856,551	6.2%	43.8%	46.7%	3.3%

※ 高濃度乳房=極めて高濃度+不均一高濃度

表13. 乳房構成別プロセス指標(2018年度分集計)

乳房構成	受診者数	要精検率	乳癌発見率	陽性反応適中度
脂肪性	52,783	2.9%	0.239%	8.2%
乳腺散在	374,852	3.8%	0.303%	7.9%
不均一高濃度	400,378	5.0%	0.288%	5.8%
極めて高濃度	28,538	4.3%	0.235%	5.5%
高濃度乳房	428,916	5.0%	0.285%	5.7%
合計	856,551	4.3%	0.290%	6.7%

表18. US検診に関する精度管理(7項目)(2018年度分集計)

- 超音波検査による死亡率減少効果はまだ証明されていないことを説明しているか
- 超音波画像は少なくとも5年は保存しているか
- 超音波検査装置は当学会の定める仕様基準を満たしているか
- 超音波検査従事者は超音波検査に関する適切な研修を終了しているか
- マンモグラフィと超音波検査の結果を併せて総合判定を行っているか
- 超音波検査結果の判定者は超音波検査に関する適切な研修を終了し、その評価結果がAまたはBであるか、あるいは評価試験の結果がAまたはBであるか
- 最終判定者はマンモグラフィ読影講習会、超音波検査に関する適切な研修および総合判定に関する研修を終了しているか

	0	1	2	3	4	5	6	7
2018	19.8%	0.0%	4.8%	3.2%	7.9%	15.9%	19.8%	28.6%

○ブレストアウェアネスとは？

- ・厚労省の指針が2021年10月に改正され、従来の「自己検診」に代えて「ブレストアウェアネス」の重要性が明記された。
- ・「乳房を意識する生活習慣」を通して、女性が生涯を通して健康で明るく、充実した日々を自立して過ごすための乳房の健康教育
- ・自己触診(自己検診)とは異なる
- ・4つのポイント
  - ⑦乳房の状態を知る(見て、触って、感じる；乳房チェック)。
  - ⑧乳房の変化(しこり、皮膚の凹みや血性の乳頭分泌など)に気をつける。
  - ⑨変化に気づいたらすぐ医師に相談する。
  - ⑩40歳になったら2年に1回乳がん検診を受ける。
- ブレストアウェアネス普及により期待されること
  - ・女性の健康意識の熟成と乳がん検診を受診する動機付けとなり、社会全体として国民の乳がんヘルスリテラシーの理解に発展することで乳がん死亡率減少効果がもたらされること
  - ・乳がん検診対象以下の若年性乳がんの早期発見
  - ・高濃度乳房に代表される乳がん検診の偽陰性対策

- ・ 中間期乳がんの診断と治療が早期に可能となり、その予後の改善が期待される

#### ○Take Home Message

- ・ 若年者（40歳未満）に対する乳がん検診の実施に当たっては、利益・不利益のバランスを十分に検討し、慎重に判断する必要がある。
- ・ 若年性乳がんの診断および検診には、マンモグラフィ+超音波検査の併用が現時点では妥当と言える。
- ・ 若年者では、乳がんの発症は少ない。偽陽性が増え、特異度が低くなることから、十分な精度管理が必要である。
- ・ ブレストアウェアネスの普及により若年性乳がんの早期発見・早期治療例が増えることを期待したい。
- ・ 今後は、発症リスクに応じた検診、AIの活用など、新たな発展にも期待したい。

以上、本年度の乳がん検診に関する課題1・3・4についてのまさに的確な解答とも成り得る有意義な講演であり、本内容を含め令和5年度の事業計画を以下の様に決定した。

#### ◎令和5年事業計画

1. 各地区の子宮頸がん検診、乳がん検診実施状況調査（精度管理も含めて）
2. 新たな子宮頸がん検診ガイドライン実施に向けての準備（LBC、HPV検査等）
3. HPVワクチン定期・キャッチアップ接種勧奨ならびに接種後対策への啓発と実態調査
4. マンモグラフィ検診及びブレストアウェアネスの普及
5. AYA世代における乳がん検診・超音波検査の意義の検討

## 《献金部》

担当理事 堀 量博

### 献金部

担当副会長	荘 隆一郎
担当副会長	松本 和紀
主担当理事	堀 量博
副担当理事	木口 一成
献金委員	
委員長	間崎 和夫
委員	青木 基彰
委員	島本 長青
委員	安江 育代
委員	岩倉 孝雄
委員	矢谷 達樹
委員	勝手恵理子
委員	花岡 正智
委員	東館 紀子

医療的ケア児支援法も制定され、重症身体障害児の在宅管理によるケアへの流れのなか、障害用語施設の重要性は高まっていますが運営状況は厳しさを増しています。私たちは施設の援助を通して、また大学の研究活動を助成することにより、障害児がより良い社会活動を送る一助になるように努力してまいります。その目標のために献金担当者を各支部に置き、きめこまかい献金活動を展開しております。

### 【2023年度献金部事業計画】

1. おぎゃー献金活動参加者を拡充し献金額増加をはかる
2. 各地区献金担当者会議の運営
3. 東京都における献金配分施設と研究費補助配分機関を審査し日母おぎゃー献金基金へ推薦
4. 新型コロナウイルス感染症蔓延の状況下における、障害児通所施設の支援の検討

### 【事業報告】

#### 1. 第1回献金部会委員会開催

日時：令和4年9月7日（水） 書面開催  
報告：令和3年度事業報告 令和4年度献金部事業計画

#### 2. 第2回献金部会委員会開催

出席者：山田正興、松本和紀、荘隆一郎、堀量博、

岩倉孝雄、東館紀子、間崎和夫、花岡正智、勝手恵理子（敬称略）

日時：令和4年10月27日（木） 書面開催  
議題：令和4年度東京からの施設配分・小口配分・研究費配分機関の選定推薦  
おぎゃー献金推進イベントについて等

#### 3. 第8回おぎゃー献金推進イベント

日時：令和5年1月21日（土） 損保会館  
次第：令和3年度助成金交付施設・大学からの発表  
アントニオ古賀様によるご演奏

#### 4. 令和4年度会員への「おぎゃー献金」のご案内（チラシ発刊）

①第1回献金案内：令和4年8月

②第2回献金案内：令和4年12月

#### 5. 令和4年度おぎゃー献金助成金交付採択結果

(1) 施設助成金 1件  
社会福祉法人つみき つみき第二（車輛）  
交付額 3,000,000円

(2) 什器・備品等助成金 1件  
あけぼの学園（遊具）交付額 357,500円

(3) 研究助成金 5件  
①昭和大学医学部産婦人科学講座（2回目）  
交付額 1,500,000円

研究課題：妊娠初期母体血漿中 cell-freeDNA のメチル化異常をマーカーとした妊娠高血圧腎症の発症予知法および病勢の評価法の開発

②順天堂大学産婦人科（2回目）  
交付額 280,000円

研究課題：胎児心拍変動解析による新生児予後の予測

③慶應義塾大学医学部産婦人科学教室（2回目）  
交付額 1,000,000円

研究課題：胎児肝血流量による胎児発育不全児の周産期予後の予測

④日本医科大学産婦人科（2回目）  
交付額 1,000,000円

研究課題：子宮頸管におけるプロゲステロン消退を標的とした新規早産予防法の開発

⑤東邦大学医学部産科婦人科学講座（初回）  
交付額 1,237,000円

研究課題：一絨毛膜双胎の脳性麻痺発症要因の解明とその予防に関する研究

コロナ禍も一息ついて各施設も通常業務に戻られているようです。しかし離職されたスタッフもい  
らっしゃり、慢性的な人手不足はあいかわらず続い  
ているようです。私たちは施設の運営に関してでは

なく、引き続き、車両や遊具の提供を通してお手伝  
いをしていきます。今後さらなるご支援の程よろし  
くお願い申し上げます

令和4年度 おぎや一献金額

月	日産婦医会受		東産婦医会受		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1	7	160,265	0	0	7	160,265
2	12	151,052	0	0	12	151,052
3	10	143,263	2	49,091	12	192,354
4	19	257,056	0	0	19	257,056
5	18	526,685	0	0	18	526,685
6	15	131,140	3	26,597	18	157,737
7	9	77,986	0	0	9	77,986
8	16	624,920	2	11,967	18	636,887
9	12	190,515	1	33,388	13	223,903
10	10	60,710	1	41,150	11	101,860
11	21	393,835	0	0	21	393,835
12	9	344,515	2	23,494	11	368,009
合計	158	3,061,942	11	185,687	169	3,247,629
					合計	3,247,629

(平成29年)	450件	5,886,438
(平成30年)	402件	10,404,638
(令和元年)	376件	6,538,472
(令和2年)	333件	4,550,988
(令和3年)	138件	3,781,644

## 《学校保健部》

担当理事 長岡 美樹

### 学校保健部

担当副会長 対馬ルリ子

担当理事 長岡 美樹

副担当理事 中島由美子

### 学校保健委員

委員 東 哲徳 (R4.12月末日退会)

委員 池上 芳美

委員 江夏亜希子

委員 塚田 訓子

委員 深沢 瞳子

委員 冬城 高久

委員 丸橋 和子

学校保健部では東京都教育庁と協力して都内公立中学・高等学校への性教育の授業、養護教諭・保護者への教育支援などを主に活動しております。本年度は10月から急遽、「生涯の健康に関する理解促進事業」「産婦人科学校医制度事業」が加わりました(資料①)。

### <令和4年度 学校保健部事業計画>

1. 都立高校に産婦人科専門医派遣の推進
2. 公立中学校に産婦人科専門医派遣の推進
3. 産婦人科専門医派遣事業推進のための会員向け講演会定期開催
4. 養護教諭向け講演会開催
5. 特別支援学校への産婦人科専門医派遣検討
6. 性教育のIT化の検討

### 小括

1. 教育庁と円滑な協力体制のもとコロナ禍においても事業を推進できました。
2. 都立高等学校41校実施(資料②)
3. 公立中学校30校実施(資料③)
4. 学校専門医に関する講演会開催  
日時：2022/11/19(日) 15:00～17:00  
会場：AP西新宿5階Cルーム  
講演1「今日の自分と未来の自分へ～性の健康の話～」  
まるはし女性応援クリニック院長 丸橋和子先生

講演2「これから性教育授業を始める先生方へ～2つの中学校での経験から～」

冬城産婦人科医院院長 冬城高久先生

参加者：57名

### 4. 養護教諭向け講演会開催

日時：2022/12/15(木) 14:30～16:30

会場：ZOOM開催

演者：四季レディースクリニック 院長

江夏亜希子先生

「性の困りごと」から生徒を守るために知っておきたい性の知識～事前質問にお答えします～

参加人数：150名

### 5. 個別の派遣は叶わなかったが学校医として2校に実施。

### 6. 2020作成のモデルDVDを活用中。

### 7. その他

1：産婦人科学校医制度 10校(資料④)

令和4年10月から産婦人科医が新たに地方公務員法に規定する非常勤職員である東京都の学校医に任用。本会会員が都立高等学校10校に学校医として配置された。

2：生涯の健康に関する理解促進事業(資料⑤)

東京都が行う「生涯の健康に関する理解促進事業」として、都立校高等学校6校でプレコンセプションの授業を行った。

3：性教育講師育成について

性教育講師として活動をしていただける先生を募集しています。見学希望の先生には実際の講演を見学して頂く調整もしています。来年度は新規に15名増員出来ました。子供たちの健やかな成長のためこの事業は継続拡大していかなければなりません。多くの先生方のご協力の申し出をお待ちしております。特に多摩地区の講師不足は深刻です。どうぞ近隣の子供たちのためにお力をお貸してください。

### 総括

コロナ禍も3年目。今年度も皆様のご協力により、歩みを止めることなく活動することができました。感謝いたします。

令和4年度は性教育事業に加え「生涯の健康に関する理解促進事業」「産婦人科学校医制度」も加わりました。益々、期待に応えなければならない場面が増えることと思います。

今後とも、ご支援ご協力の程よろしく願いいたします。

## 資料①

東京産婦人科医会学校保健委員会 事業一覧

2023/2月現在

事業名	発注元	発注先	担当者	事業内容
「性教育の授業」 中学生対象	東京都教育委員会指導 部長 1時間13700円 (交通費税込)*3h	東京都医師会 担当：高島先生	東京都教育庁 指導部指導企画課体育健康 教育担当：升屋・鞠様	学習指導要領に含まれな い内容を含む指導 授業 (DVD貸出有)
「都立学校における 専門医派遣事業」 高校生対象	東京都教育委員会都立 学校教育部長 1回28300円 (交通費税込)	東京産婦人科医会	東京都教育庁 都立学校教育部学校健康推 進課：新田・千葉様	学級担任や養護教諭等の 健康相談活動支援 支援
養護教諭向け講演	東京都教育委員会都立 学校教育部長 1時間13700円 (交通費税込)*2h	東京産婦人科医会	東京都教育庁 都立学校教育部学校健康推 進課：新田・千葉様	養護教諭向け指導 講義
「生涯の健康に関す る理解促進事業」 高校生対象 2022/10月～	東京都教育庁 指導部長体育健康教育 担当課長 1時間13700円 (交通費税込)*3h	東京産婦人科医会	東京都教育庁 指導部指導企画課体育健康 教育担当：大村・升屋様	プレコンセプションケア 授業
産婦人科学校医 都立学校 2022/10月～	東京都教育庁 都立学校教育部長 50200円/月	東京産婦人科医会	東京都教育庁 学校健康推進課： 上田・笹渕様	学校医

資料②

令和4年度専門医派遣事業・産婦人科

	学校名	学校所在地	最寄り駅	R4派遣 予定回数	R4医師名	所属	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
1	秋留台(全)	あきる野市平沢	東秋留	1	依光あゆみ	よりみつレディースクリニック			27日10:25 講演会							
2	飛鳥(定)	北区王子	王子神谷/王子	2	深沢 瞳子	赤羽駅前女性クリニック			打合せ			講演会				
3	足立(定)	足立区中央本町 1-3-9	五反野	2	池上 芳美	医療法人社団なすな会 池上レディースクリニック						(打合せ)		30日19時 講演会、 個別相談	講演会、 個別相談	
4	板橋有徳(全)	板橋区徳丸	東武練馬	1	吉野 一枝	よしの女性診療所							5日13時 講演会			
5	五日市(全)	あきる野市五日市	武蔵五日市	1	金子 透子	青空(そら)レディースクリニック										15AM 講演会
6	五日市(定)	あきる野市五日市894	武蔵五日市	1	金子 透子	青空(そら)レディースクリニック										15日 講演会
7	青梅総合(全)	青梅市勝沼	東青梅	2	金子 透子	青空(そら)レディースクリニック		24日14:30 打合せ、 個別相談		14日10:55 講演会 個別相談						
8	青梅総合(定)	青梅市勝沼	東青梅	2	金子 透子	青空(そら)レディースクリニック		17日14:30 打合せ、 個別相談		14日17:50 講演会 個別相談						
9	大山	板橋区小茂根 5-18-1	上板橋/小竹 向原	2	山下 有紀	板橋区医師会病院産婦人科				15日10:50 講演会				座談会、個別相談		
10	片倉	八王子市片倉町	八王子みなみ野	1	丸橋 和子	まるはし女性応援クリニック				15日10:30 講演会						
11	葛飾野(全)	葛飾区亀有 1-7-1	亀有/お花茶屋	1	宮國 泰香	公益財団法人 東京都保健医療 公社 東部地域病院				講演会						
12	蒲田	大田区蒲田本町	蒲田	1	高根 雅夫	高根クリニック								個別相談		
13	桐ヶ丘(定)	北区赤羽北	北赤羽	2	深沢 瞳子	赤羽駅前女性クリニック							17日16:20 相談			30日16:20 相談
14	工芸(定)	文京区本郷	水道橋	2	塚田 訓子	アトラスレディースクリニック			17日13時 打合せ	11日17:45 講演会						
15	小金井工業(定)	小金井市本町 6-8-9	武蔵小金井	1	池田真理子	医療法人社団 新委会 東府中病院				8日17:45 講演会						
16	小平西	小平市小川町 1-502-95	東大和市	2	畑中 諭	(医社)ヒマワリ会 畑中 諭医院			22日14:00 講演会						講演会	
17	石神井	練馬区関町北	武蔵関	2	寺内 智子	寺内医院			2日12:30 打合せ	19日8:30 講演会						
18	新宿山吹	新宿区山吹町	早稲田/神楽 坂/江戸川橋/ 牛込柳町	1	対馬ルリ子	医療社団法人 フィーメール ガーデン 対馬ルリ子女性ライフクリ ニック銀座 (医社)ひつじ会 宮益坂メリーレディースクリ ニック							20日13:30 講演会			
19	世田谷泉(定)	世田谷区深沢 7-3-14	千歳烏山	2	長岡 美樹	宮益坂メリーレディースクリ ニック				15日14時 講演会				個別相談 講演会		
20	第五商業(全)	国立市中	国立/谷保	1	毛利 素子	毛利もとこ女性クリニック				13日8:45 講演会						
21	第五商業(定)	国立市中	国立/谷保	1	毛利 素子	毛利もとこ女性クリニック				13日17:45 講演会						
22	第三商業(全)	江東区越中島	越中島	1	江夏亜希子	四季レディースクリニック									15講演会	
23	田柄	練馬区光が丘 2-3-1	光が丘	1	吉野 一枝	よしの女性診療所				13日						
24	田無工業	西東京市向台調 1-9-1	田無/西武柳沢	2	塚田 訓子	アトラスレディースクリニック				5日13時 打合せ			21日13:30 講演会	講演会		
25	多摩	青梅市裏宿町	青梅	1	金子 透子	青空(そら)レディースクリニック				7日13:15 講演会						
26	つばさ総合	大田区本羽田 3-11-5	大鳥居	1	対馬ルリ子	(医社)フィーメールガーデン 対馬ルリ子女性ライフクリ ニック銀座				6日11:00 講演会						
27	田園調布	大田区田園調 布南27-1	沼部/御嶽山	1	宗田 聡	広尾レディース									講演会	
28	練馬工業	練馬区早宮	平和台	1	塚田 訓子	アトラスレディースクリニック									12日	
29	野津田	町田市野津田	鶴川/町田	2	長岡 美樹	宮益坂メリーレディースクリ ニック		25日15:30 打合せ		13日11:00 講演会						
30	東久留米総合 (定)	東久留米市幸町	清瀬	2	松葉 悠子	勝どきウイメンズクリニック			22日18時 打合せ	20日17:30 講演会						
31	東村山西	東村山市富士 見町	西武多摩湖線 八坂	2	丸橋 和子	まるはし女性応援クリニック			打合せ	8日13:20 講演会、個 別相談						
32	日野	日野市石田 1-190-1	多摩都市モノ レール 万願寺	2	丸橋 和子	まるはし女性応援クリニック		(13打合せ)	10日15:45 講演会						16日講演会	
33	広尾	渋谷区東	恵比寿	2	長岡 美樹	宮益坂メリーレディースクリ ニック				12日10:50 講演会					講座	
34	深沢	世田谷区深沢 7-3-14	桜新町	2	★冬城 高久	冬城産婦人科医院			打合せ						講演会	
35	府中	府中市栄町	北府中	3	池田真理子	東府中病院			16日15時 打合せ						講演会、研修会	
36	町田(定)	町田市中町	町田	1	加藤 有美	町田市民病院				11日17:30 講演会					講演会	
37	瑞穂農芸(全)	西多摩郡瑞穂町 石畑2027	八高線 箱根ヶ崎	1	依光あゆみ	よりみつレディースクリニック				8日11時 講演会						
38	瑞穂農芸(定)	西多摩郡瑞穂町 石畑2027	八高線 箱根ヶ崎	1	依光あゆみ	よりみつレディースクリニック				8日17時 講演会						
39	芦花	世田谷区鉛谷	千歳烏山	2	東 哲徳	東クリニック							打合せ		21日10:30 講演会	
40	八丈 (局しょ地区)(定)	八丈島		2	長岡 美樹	宮益坂メリーレディースクリ ニック		11日打合せ	14日18:45 講演会(教 員、保護者)							
41	三宅 (局しょ地区)	三宅島		2	松葉 悠子	勝どきウイメンズクリニック			打合せ	6日11:05 講演会						

## 資料③

令和4年度「性教育の授業」実施校一覧

	地区名	学校名	学校連絡先	医療機関	講師	実施日	授業時間	学年	人数
1	世田谷区	用賀中学校	〒158-0098 世田谷区上用賀5-15-1 03-3700-5600	冬城産婦人科医院	冬城 高久	5/19 (木)	14:30～15:20	3	142
2	福生市	福生第三中学校	〒197-0004 福生市南田園3-1-1 042-551-9301	対馬ルリ子 女性ライフクリニック	対馬ルリ子	6/9 (木)	14:30～15:20	3	69
3	練馬区	大泉西中学校	〒178-0065 練馬区西大泉3-19-27 03-3921-7101	よしの女性診療所	吉野 一枝	7/6 (水)	13:25～14:15	3	170
4	日野市	平山中学校	〒191-0043 日野市平山4-21-3 042-593-3015	毛利もとこ女性クリニック	毛利 素子	7/6 (水)	午前中	3	102
5	国分寺市	第五中学校	〒185-0005 国分寺市並木町2-15 042-325-3735	アトラス レディースクリニック	塚田 訓子	7/11 (月)	13:30～14:20	3	167
6	立川市	立川第五中学校	〒190-0032 立川市上砂町3-27-1 042-247-5077	立川相互病院	池田 麗	7/15 (金)	13:25～14:15	2	206
7	目黒区	大鳥中学校	〒153-0064 目黒区下目黒3-23-18 03-3714-3694	昭和大学	白土なほ子	8/26 (金)	13:30～14:20	3	175
8	練馬区	旭丘中学校	〒176-0005 練馬区旭丘2-40-1 03-3957-3133	よしの女性診療所	吉野 一枝	9/7 (水)	13:30～14:20	3	35
9	中野区	北中野中学校	〒165-0031 中野区上鷲宮5-7-1 03-3999-3415	寺内医院	寺内 智子	11/1 (火)	13:45～14:35	3	457 (オンライン)
10	北区	飛鳥中学校	〒114-0024 北区西ヶ原3-5-12 03-3910-6175	赤羽駅前女性クリニック	深沢 瞳子	11/18 (金)	13:30～14:20	3	81
11	小平市	小平第五中学校	〒187-0032 小平市小川町1-798 042-341-6795	宮益坂メリーレディースクリニック	長岡 美樹	11/30 (水)	9:50～10:40	1	185
12	大田区	矢口中学校	〒146-0092 大田区下丸子2-23-1 03-3759-9331	四季レディースクリニック	江夏亜希子	12/1 (木)	13:30～15:20	3	155
13	青梅市	吹上中学校	〒198-0015 青梅市吹上1番地 042-848-1142	青空レディースクリニック	金子 透子	12/1 (木)	14:25～15:15	3	68
14	調布市	神代中学校	〒182-0016 調布市佐須町5-26-1 042-482-0171	宮益坂メリーレディースクリニック	長岡 美樹	12/14 (水)	9:55～10:45	1	310
15	新宿区	西新宿中学校	〒160-0022 新宿区西新宿8-2-44 03-5330-0661	勝どきウィメンズクリニック	松葉 悠子	3/8 (水)	13:30～14:20	3	86
16	台東区	上野中学校	〒110-0002 台東区上野桜木1-11-55 03-3828-5458	東部地域病院	村田佳奈子	3/7 (火)	9:35～10:20	3	149
17	世田谷区	砧南中学校	〒157-0077 世田谷区鎌田3-13-20 03-3417-6791	ともこレディースクリニック下北沢	出井 知子	3/14 (火)	9:45～11:35	3	161
18	豊島区	西池袋中学校	〒171-0021 豊島区西池袋4-7-1 03-3986-5427	河北総合病院	三島みさ子	3/8 (水)	13:30～14:20	3	150
19	葛飾区	新小岩中学校	〒124-0025 葛飾区西新小岩2-1-2 03-3695-2541	赤羽駅前女性クリニック	深沢 瞳子	3/7 (火)	9:45～10:35	3	124
20	江戸川区	南葛西第二中学校	〒134-0085 江戸川区南葛西5-3-1 03-3878-3651	東部地域病院	村田佳奈子	3/3 (金)	13:30～14:20	3	106
21	江戸川区	上一色中学校	〒133-0041 江戸川区上一色1-8-11 03-3653-5407	池上レディースクリニック	池上 芳美	3/8 (水)	13:35～14:25	3	127
22	小金井市	小金井第一中学校	〒184-0005 小金井市桜町2-3-15 042-345-2132	東府中病院	池田真理子	3/3 (金)	9:50～10:40	3	166
23	小金井市	南中学校	〒184-0014 小金井市貫井南町1-26-1 042-359-2437	東府中病院	池田真理子	3/3 (金)	13:35～14:25	3	118
24	福生市	福生第一中学校	〒197-0003 福生市熊川845 042-551-0321	杉山産婦人科	三井 悠	3/8 (水)	13:30～14:20	3	143
25	福生市	福生第二中学校	〒197-0012 福生市加美平1-22-1 042-344-8309	対馬ルリ子 女性ライフクリニック	石山 尚子	3/10 (金)	13:30～14:20	3	126
26	狛江市	狛江第四中学校	〒201-0002 狛江市東野川4-1-1 03-3480-9691	町田市民病院	加藤 有美	3/8 (水)	11:00～11:50	3	97
27	多摩市	聖ヶ丘中学校	〒206-0022 多摩市聖ヶ丘2-17 042-374-0685	勝どきウィメンズクリニック	松葉 悠子	3/4 (土)	11:00～11:50	3	92
28	多摩市	鶴牧中学校	〒206-0034 多摩市鶴牧6-5-1 042-337-4020	毛利もとこ女性クリニック	毛利 素子	3/8 (水)	10:50～11:40	3	156
29	多摩市	落合中学校	〒206-0033 多摩市落合4-14 042-372-1861	青空レディースクリニック	金子 透子	3/9 (木)	10:50～11:40	3	126
30	都立	小石川中等教育学校	〒113-0021 文京区本駒込2-29-29 03-3946-7171	戸田中央産院	難波 直子	12/20 (火)	11:20～12:05	1	161

## 資料④

2022	学校名	住所地	氏名	所属
	青山高校	港区	冬城高久	冬城産婦人科医院
	つばさ総合	大田区	対馬ルリ子	女性ライフクリニック銀座
	本所高校	墨田区	江夏亜希子	四季レディースクリニック
	石神井高校	練馬区	長岡美樹	宮益坂メリーレディースクリニック
	永福学園	杉並区	塚田訓子	アトラスレディースクリニック
	王子特別支援学校	北区	吉野一枝	よしの女性診療所
	八王子拓真	八王子市	西島重信	西島産婦人科医院
	立川高校	立川市	毛利素子	毛利もとこ女性クリニック
	立川国際中等教育学校	立川市	丸橋和子	まるはし女性応援クリニック
	瑞穂農芸	瑞穂町	依光あゆみ	よりみつレディースクリニック

## 資料⑤

## 令和4年度生涯の健康に関する理解促進事業実施校

	学校名	住所	日程	担当医
1	広尾高等学校 (校長：山室 俊浩)	〒150-0011 渋谷区東4-14-14	令和4年12月20日(金) 第2学年	対馬ルリ子
2	荒川工業高等学校 (校長：西牧 豊実)	〒116-0003 荒川区南千住6-42-1	令和4年12月7日(水) 第2学年	池上芳美
3	葛西南高等学校(定時) (校長：関山 勝之)	〒134-8555 江戸川区南葛西1-11-1	令和4年11月18日(金) 第1・2学年	江夏亜希子
4	田園調布高等学校 (校長：福原 利信)	〒145-0076 大田区田園調布南27-1	令和4年12月8日(木) 第2学年	冬城高久
5	中野工業高等学校	〒165-0027 中野区野方3-5-5	令和5年1月16日(月) 第1学年	塚田訓子
6	野津田高等学校 (校長：池戸 成記)	〒195-0063 町田市野津田町2001	令和4年12月14日(木) 第3学年	長岡美樹

